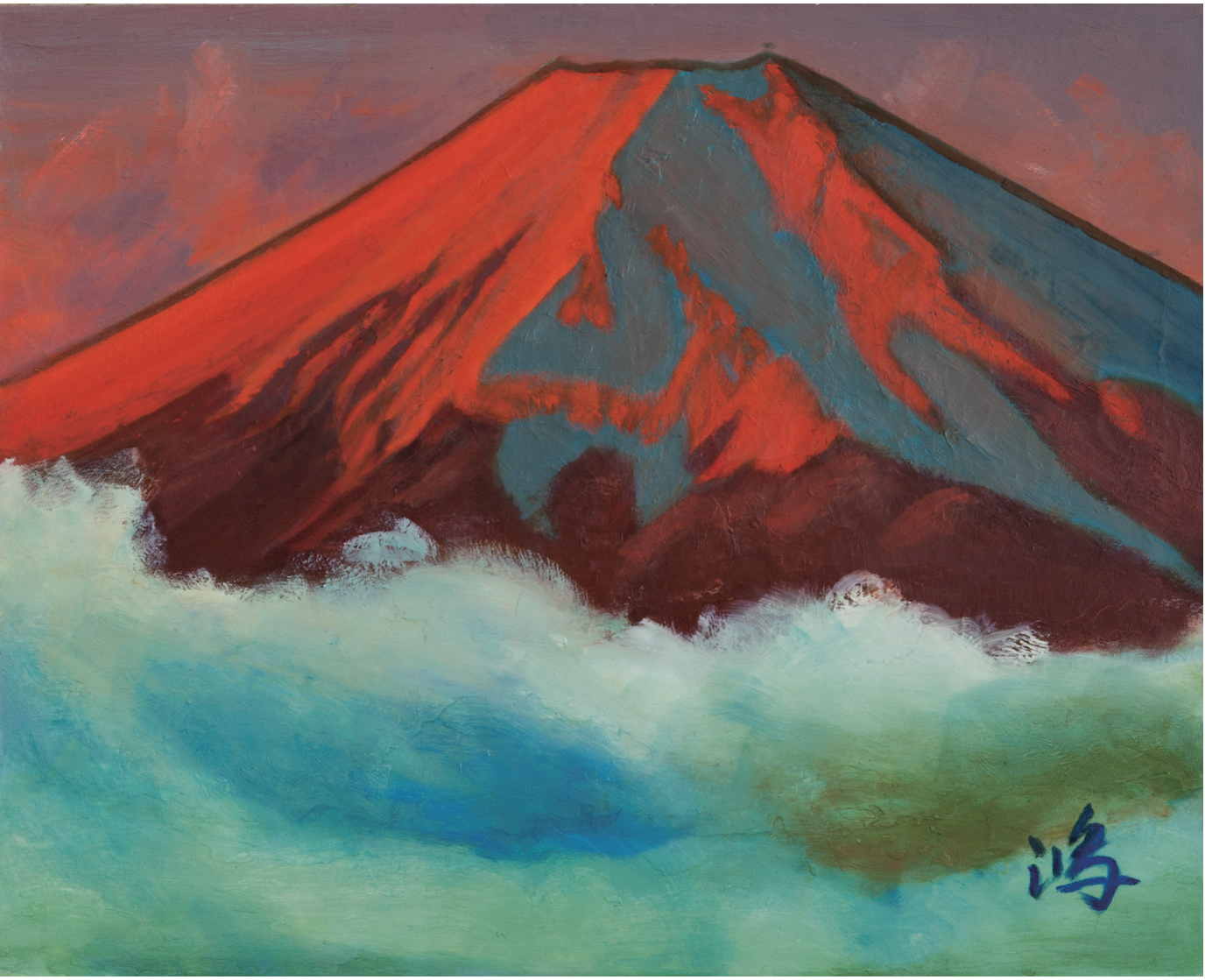
学校法人　片柳学園
日本工学院専門学校　校友会誌

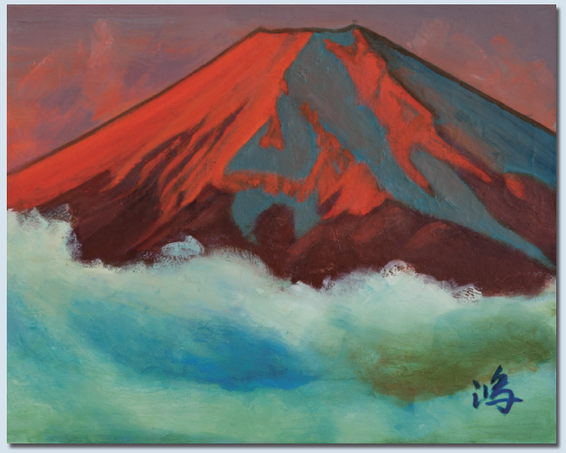
# かまた

発行・平成23年8月31日
No.47



## 表紙のことば

創立者・学園長・理事長
校友会名誉顧問
**片柳 鴻**




「赤富士」1984年作

1982(昭和57)年頃、山中湖鴻林閣に滞在しているとき、早朝部屋の窓枠の中に雲海上の赤富士が見えました。サッシの中にすっぽり見える霊峰の様子は珍しく、二度とないチャンスであると早速キャンパスに向かいました。刻々と変化する雲海のスペクタルは息を呑むほど素晴しく、その雰囲気を表現することに苦労した作品です。後に手を加えましたが、目の前で繰り広げられた大自然の壮麗なドラマをキャンパス上に表現することは出来ませんでした。その後、赤富士を描こうと、同じ窓枠を覗き二度目のチャンスを狙いましたが、同じ光景は訪れませんでした。あれほど見事な赤富士に恵まれることは、皆無に等しい奇跡的なことなのではないかと思っております。

## Contents


表紙のことば　**名誉顧問**　片柳　鴻……表2
**校友会会長**　桂田 忠明……1
**日本工学院専門学校 学校長**　千葉　茂……2
**校友会だより**……3
第22回通常総会報告……3
「校友会ラウンジ」利用規定が決まりました……6
平成22年度支部会員の集い……7
岩手県支部／福島県支部……7
栃木県支部／群馬県支部……8
福井県支部／山梨県支部……9
愛知県支部／兵庫県支部……10
鳥取県支部／島根県支部／徳島県支部……11
香川県支部／愛媛県支部……12
高知県支部／福岡・佐賀県支部……13
長崎県支部／熊本県支部……14
宮崎県支部……15
平成23年度支部事業 支部会員の集い開催予定……16
**母校の歩み**……17
**日本工学院ニュース**……29
平成22年度卒業証書授与式……29
平成23年度入学オリエンテーション……29
第45回かまた祭……30
第42回体育祭……30
平成23年度 かまた祭のお知らせ……31
キャリアサポートセンターからの報告……32
平成23年 教職員の退職者報告……33
蒲田校 学科の変遷……34
**校友会首都圏支部「校舎見学会・懇親会」のお知らせ**……38
**校友・交遊 集まってます!**……39
**入学金免除制度**……41
**かまた題字作家紹介**……42
**個人情報保護についての取組み**……42
**会員近況メッセージ お元気ですか?**……43
**写真でみる校舎の変遷**……52
**学校法人片柳学園 各学校紹介**……表3


# Message

## 「東日本大震災に思う」


校友会会長
**桂田 忠明**
放送技術部・36年卒業
セントラル電子制御株式会社・代表取締役


去る3月11日の東日本大震災に際して、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々やそのご家族の皆様に衷心より哀悼の意を表します。

現在、日本工学院専門学校校友会に登録されている被災地区の会員の方々の数は、6533人に上ります。地震・大津波の被害に加え、東京電力福島第1原子力発電所の事故で大変な思いをされておられる方も多いと思われます。被災地区の各支部長様には、ご自身も大変な中、会員の方々の安否確認などを行っていただき心より感謝申し上げます。復興までには、まだまた時間がかかることが予想されます。校友会として、被災された方々に今後とも何らかの支援を行って参りたいと思っております。

希望を失うことなく一日も早く、これまでの様な生活に戻れますよう心より祈念しております。

さて、日本工学院専門学校校友会は、その前身である日本電子学院研友会が、昭和42年に発足してより、今年で42年目を迎えて、今では会員数も13万5千人を超え、支部も海外2支部と国内40支部を数えております。各支部での活発な活動に支えられ、人的な交流を益々活発にし、強い絆で結ばれたネットワークを国内のみならず、海外へも広げて行きつつあります。しかし、この度の震災に際して、被災地の会員の方々の安否確認がなかなか難しい状況で、会員同士の更なる情報交換やネットワーク強化の必要性を痛感させられた次第でした。

会員の皆様には、支部活動へご参加頂き近況を語り、情報交換を行っていただきたいと思います。なかなかご参加できない方々は、校友会Webサイトである「校友会Net」にアクセスし、「全国支部ブログ」をご覧頂き、また「校友会親睦掲示板」に投稿するなど是非ご活用下さい。様々な手段で皆様の所在・近況を各支部並びに本部事務局へお知らせ下さるようお願い申し上げます。この災害を契機として、日本工学院専門学校の卒業生としての絆を一層深めることができれば幸いです。

また、昨年完成した蒲田新校舎の12階に設けられました「校友会ラウンジ」も、是非ご活用下さい。

# Message

## 校友会誌「かまたNo.47」に寄せて

学校長
**千葉 茂**

春は、寒い冬が終わり、すべてが新しい息吹に感じられる季節でありますが、今年は未曾有の大惨事となった巨大地震によって日本中が深い悲しみに包まれました。

3月11日に発生しました東日本大震災により被災されました方々、およびご家族の皆様に対し、謹んでお悔やみとお見舞いを申し上げます。

被災の中心である北東北は特に卒業生の方々が多い地区で、岩手支部には811名、宮城支部には546名の登録があります。また、原発で被害の大きい福島県には1,511名が登録されており、安否が気懸かりです。

新入生、在校生、卒業生においては家屋の被害はあるものの、幸いにして亡くなられた方は居らず、被災された方については学費の減免や見舞金の支給を行っております。

今回、震災を通して我々が忘れていたことを、いくつか気づかされました。一つは、誰しも自分の力だけで、今の生活を得られているわけではないこと。今回の震災で我々の生活はガタガタになってしまいました。無尽蔵にあると思っていた電気はストップし、電車もバスも止まり、野菜や魚の調達にも右往左往してしまいました。多くの人々の苦労の上に私たちの生活が成り立っていること、自分が置かれている環境に感謝を忘れてはいけないのです。

もう一つは“あすなろう”精神です。私たちは豊かな社会に暮らすうちに、ともすればあすへの目標を見出すことが難しくなっています。悲惨な被災地の状況の中で一番大事なことは、重機やお金だけではなく、必ず復興するという強い意思ではないでしょうか。私たちは古来より先人たちが、明日への目標に向かって努力してきたことによって、現在の社会が形成されているのだと思います。被災地の明日を、自分が暮らす謝意の明日に目標を持つ“あすなろう”の気持ちを忘れてはいけないこと改めて思いました。

日本工学院は、昨年より今まで以上に社会に信頼される学校になるという目標を持って、教育改革に取り組む準備をして参りました。偶然にも教職員が“あすなろう”精神を持って教育改革に取り組みを始めた時期に、この大事な精神の重要性に気づかされたことになりました。

就職氷河期にあっても、企業で評価される人材育成を通して、就職率の向上に挑む学校の挑戦にご期待下さい。最後になりますが、皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げます。



校友会だより

## 第22回 通常総会 報告

日　時　平成23年6月11日（土）15:30～17:00
於　日本工学院専門学校
第2階段教室（新棟10階31005教室）
出　席　42支部（支部長・副支部長）
挨　拶　桂田 忠明　会長

通常総会は、本校講師で会員でもある相沢早苗さんの総合司会と奥川宏副会長の議事進行により、桂田忠明会長の挨拶につづき、議案審議がなされ6つの議案すべてが承認されました。次回の第23回通常総会を平成24年6月9日（土）と決めました。

通常総会開始前に、新棟エントランス内の片柳理事長の絵画の前で、片柳鴻名誉顧問と千葉茂学校長を囲んで記念写真を撮りました。続いて、ギャラリー鴻で開催されている「東日本大震災被災地の記録展」（写真展示と救援募金）を見学しました。

通常総会終了後は、12階の学生ラウンジにおいて懇親会が行われ、桂田会長、千葉学校長、遠山副校長の挨拶および新役員（副会長、顧問、地区幹事）と新支部長の紹介がありました。懇親会は、学校関係者を交えて終始和やかな雰囲気で行われました。

### 総会次第

1. 開　　会
2. 会長挨拶
3. 名誉顧問挨拶
4. 学校長挨拶
5. 議長、副議長および議事録署名人（2名）の選出
6. 議事審議
   - 第1号議案　平成22年度事業報告
   - 第2号議案　平成22年度収支決算報告および監査報告
   - 第3号議案　平成23年度事業計画案
   - 第4号議案　平成23年度収支予算案
   - 第5号議案　役員改選について
   - 第6号議案　その他
7. 議長、副議長の解任
8. 閉　　会

◉平成22年度収支決算報告
（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|---|---|---|---|
| 科目 | 金額(円) | 科目 | 金額(円) |
| 前期繰越 | 60,798,303 | 会誌「かまた」など制作費 | 10,944,998 |
| 校友会会費 | 32,040,000 | 総会諸費用 | 1,849,140 |
| 会誌「かまた」広告 | 650,000 | 地区支部長会議諸経費 | 2,358,701 |
| 受取利息 | 719 | 支部事業費 | 5,405,492 |
| | | 校友会ウェブサイト経費 | 1,702,365 |
| | | 事務管理費 | 215,039 |
| | | 人件費 | 1,642,612 |
| 収入の部計 | 93,489,022 | 支出の部計 | 24,118,347 |
| | | 次年度繰越 | 69,370,675 |

◉平成23年度予算書

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|---|---|---|---|
| 科目 | 金額(円) | 科目 | 金額(円) |
| 前期繰越 | 69,370,675 | 会誌「かまた」など制作費 | 11,800,000 |
| 校友会会費 | 32,000,000 | 総会諸費用 | 2,000,000 |
| 会誌「かまた」広告 | 600,000 | 地区支部長会議諸経費 | 2,700,000 |
| 受取利息 | 1,000 | 支部事業費 | 6,000,000 |
| | | 校友会ウェブサイト経費 | 2,500,000 |
| | | 事務管理費 | 950,000 |
| | | 人件費 | 4,900,000 |
| | | 予備費 | 3,000,000 |
| 収入の部計 | 101,971,675 | 支出の部計 | 33,850,000 |
| | | 次年度繰越 | 68,121,675 |

## 校友会役員の改選について

**1** 日本工学院専門学校校友会会則第 16 条「役員および代議員の任期」により、役員の任期満了のため改選する。

1）会　長　［再］桂田　忠明

2）副会長　［再］野里　和弘　　［再］植木　敏郎
　　［再］奥川　宏　　［再］清田　茂信
　　［新］平岡　征男

3）幹　事
　ア）常任理事
　　［再］工藤俊一郎　　［再］藤本　昌之
　　［再］大石　清彦　　［再］遠山　一明
　　［再］佐藤　　充
　イ）地区幹事
　　［北海道・東北地区］［再］高橋　伸
　　［関東・甲信越地区］［再］廣瀬　憲治
　　［東海・北陸地区］［再］石黒　明
　　［近畿・中国・四国地区］［新］白石　脩
　　［九州・沖縄地区］［再］穴見　誠
　ウ）会計幹事
　　［再］郷治　正雄　　［再］猪口　眞美

4）会計監査　［再］平井　正博　　［再］廣瀬　憲治

**2** 日本工学院専門学校校友会会則第 18 条「名誉顧問および顧問」により、顧問を委嘱する。

【顧　問】　重廣　忠雄　　平松　義雄
　　大谷　正勝　　松尾　勇市
　　喜屋武光信　　大島　一博
　　只埜　洋樹　　［新］佐藤　博治



## 校友会通常総会等の様子

平成23年6月11日（土）に日本工学院専門学校において、全国42支部から校友会会員13万5千人を代表する支部長が母校に来校され、第22回通常総会が開催されました。

### 通常総会　15:30～17:00

新棟10階第5階段教室において、通常総会が行なわれました。司会は相沢早苗さんが行ないました。植木敏郎副会長の開会宣言に続いて桂田会長の挨拶があり、その後、議長、副議長を選出し、議事の討議が行なわれました。

### 記念写真撮影 14:50～15:00

新棟1階のエントランスホールで片柳理事長と千葉学校長を囲み記念写真を撮りました。

### 懇親会 17:30～19:00

12階の学生ラウンジにおいて懇親会が行われました。

# 「校友会ラウンジ」利用規定

## 1 利用資格

① 日本工学院専門学校校友会会員および準会員。
ただし、準会員のみでの使用は出来ません。準会員が利用を希望する場合は、教職員が責任者となり、一切の管理責任を負っていただきます。
② 校友会会員が代表者または責任者である団体・グループ。
③ 学校法人片柳学園の教職員。
④ 日本工学院専門学校校友会会長が認めた者および団体・グループ。

## 2 利用目的

会議、待ち合わせ、親睦会など様々な目的で使用できますが、目的によっては、校友会事務局の判断でお断りする場合があります。
ただし、利益を得ることを目的とした事業ならびに政治活動・宗教活動を伴う集会には利用できません。

## 3 校友会ラウンジ概要

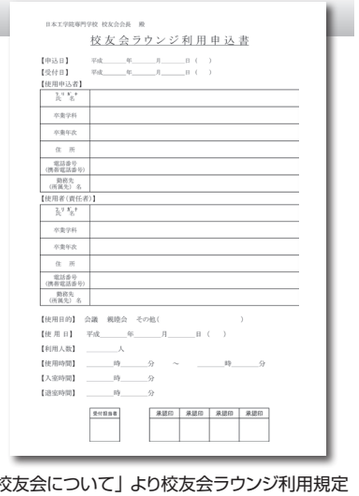
○面積：約 116㎡　○定員：40 名
利用可能な設備:OHP、プロジェクター（パソコン・DVD接続可）、スクリーン、ホワイトボード、DVD、冷蔵庫、電気ポット、急須、湯飲茶碗、コップ。
設備の利用については、無料です。

## 4 利用時間

平日　10:00～17:00
学校が休みの時には、利用できません。
利用する場合は2週間前までに校友会事務局に届け、校友会事務局の承認を得なければなりません。また、校友会行事のある場合はこれを優先といたします。
上記時間以外の利用に関しては、校友会事務局にご相談願います。

## 5 申し込み方法

所定の申込用紙に必要事項を記入の上、校友会事務局にE-mail、FAX、郵便等でご提出願います。先着順で申し込みを受け付けます。ただし、校友会行事等を優先とさせていただくため、使用をお断りする場合がありますので、予めご了承願います。


日本工学院専門学校　校友会会長　殿

校友会ラウンジ利用申込書

【申込日】　平成＿＿年＿＿月＿＿日（　）
【受付日】　平成＿＿年＿＿月＿＿日（　）
【使用申込者】

| | |
|---|---|
| ふりがな<br>氏　名 | |
| 卒業学科 | |
| 卒業年次 | |
| 住　所 | |
| 電話番号<br>（携帯電話番号） | |
| 勤務先<br>（所属先）名 | |

【使用者（責任者）】

| | |
|---|---|
| ふりがな<br>氏　名 | |
| 卒業学科 | |
| 卒業年次 | |
| 住　所 | |
| 電話番号<br>（携帯電話番号） | |
| 勤務先<br>（所属先）名 | |

【使用目的】　会議　親睦会　その他（　　）
【使 用 日】　平成＿＿年＿＿月＿＿日（　）
【利用人数】　＿＿人
【使用時間】　＿＿時＿＿分　～　＿＿時＿＿分
【入室時間】　＿＿時＿＿分
【退室時間】　＿＿時＿＿分

| 受付担当者 | 承認印 | 承認印 | 承認印 | 承認印 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |

「校友会について」より校友会ラウンジ利用規定及び使用申込（PDF）をダウンロードしてください。

**●申込用紙は校友会事務局**
**☎03-3732-8183**
**にご請求いただくか**
**ホームページをご覧ください。**
**http://www.kouyukai.net/**



校友会だより

# 平成22年度 支部会員の集い

平成22年度支部会員の集い（総会・懇親会）は、全国で約300人が集い、さまざまな趣向で開催されました。自己紹介、近況報告、役員の改選、懇親会での情報交換など、各支部とも有意義で実りある会合内容が報告されています。旧友との久々の再会となる懇親会では懐かしい思い出話にも花が咲き、和やかで充実した歓談のひとときがもたれました。今後も世代をこえた地元校友とのネットワークづくりに、皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

## 岩手県支部

■設　立：平成2年10月23日　■登録会員：811名
■支部長：阿部 富美雄　E-mail iwate@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

### 第11回 岩手県支部会員の集い

開催日：平成22年9月18日（土）　出席者：9名
会　場：盛岡市「りすとらんて・とっと」

**●支部総会　18:00～19:00**
1. 開会挨拶
　◇出席者への謝辞
2. 学校代表報告
　◇自己紹介　◇蒲田校・八王子校の就職関連
3. 事務局からの報告
　◇校友会の現状と活動状況
　◇新棟3号館と校友会ラウンジの報告
　◇未来を創る教育フォーラムの報告
4. 役員改選

**●懇親会　19:00～21:00**

出席者：阿部 富美雄（S.43卒）／小原 克（S.32卒）／細川 廣（S.44卒）／細川 幸雄（S.49卒）／高橋 昭一（S.51卒）／矢内 寿也（S.52卒）／大橋 浩（H.11卒）
[学校代表]香村 道憲（八王子校 ｷｬﾘｱｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ 副センター長）
[事務局]猪口 眞美

## 福島県支部

■設　立：昭和63年11月18日　■登録会員：1551名
■支部長：荒 俊之　E-mail fukushima@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

### 第11回 福島県支部会員の集い

開催日：平成22年9月25日（土）　出席者：10名
会　場：会津若松市「会津迎賓館　寿し万」

**●支部総会　17:30～18:00**
1. 開会挨拶
　◇出席者への謝辞　◇出席者の紹介
2. 学校代表報告
　◇自己紹介　◇蒲田校・八王子校の就職関連
3. 校友会事務局からの報告など
　◇配付資料の説明　◇学校の現状（リーフレット配付）
　◇第 21 回通常総会　◇新校舎の完成
　◇蒲田校・東京工科大学の開設　◇校友会ホームページの紹介
　◇集いの会・出欠席者情報（支部長に資料渡し）
4. 支部活動報告
　◇ 2 年間の活動報告
5. 役員改選
6. その他
　◇次回開催地

**●懇親会　18:00～21:00**

出席者：荒 俊之（S.57卒）／長谷川 博順（S.43卒）／三森 繁（S.45卒）／伊藤 晃（S.49卒）／櫻田 浩二（S.49卒）／玉川 孔喜（S.55卒）／髙橋 晃（S.61卒）／上野 文寛（H.16卒）
[学校代表]香村 道憲（八王子校 ｷｬﾘｱｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ 副センター長）
[事務局]村林 大

# 栃木県支部

■設　立：昭和63年8月27日　■登録会員：1402名
■支部長：川岸 稔　E-mail tochigi@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

## 第11回 栃木県支部会員の集い

開催日：平成22年9月26日(日)　出席者：8名
会　場：宇都宮市「ホテル エストイン宇都宮」

出席者：三浦 専治(S.41卒)／川岸 稔(S.38卒)／山下 洋子(S.48卒)／赤塚 明男(S.49卒)／吉田 典子(S.56卒)
[学校代表]香村 道憲(八王子校 ｷｬﾘｱｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ 副センター長)
[校友会顧問]平松 義雄　[事務局]村林 大

**●支部総会　13:30～15:00**

1. 開会挨拶
　◇出席者への謝辞
2. 支部活動報告
　◇２年間の支部活動
　◇校友会 21 周年記念事業
　◇校友会ラウンジ新設の経緯
3. 自己紹介
4. 学校代表報告
　◇自己紹介　◇蒲田校・八王子校の就職関連
5. 校友会事務局からの報告など
　◇配付資料の説明　◇学校の現状について（リーフレット配付）
　◇第 21 回通常総会　◇新校舎の完成
　◇蒲田校・東京工科大学の開設　◇校友会ホームページの紹介
　◇集いの会・出欠席者情報（支部長に資料渡し）
6. 役員改選

**●講演会①　15:00～16:00**
講師：三浦 専治　テーマ「環境問題」

**●講演会②　16:00～18:30**
講師：平松 義雄　テーマ「母校の歩み」（小冊子配付）

**●懇 親 会　17:00～18:30**

# 群馬県支部

■設　立：昭和63年7月4日　■登録会員：1543名
■支部長：山口 剛　E-mail gunma@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

## 第11回 群馬県支部会員の集い

開催日：平成22年11月27日(土)　出席者：16名
会　場：前橋市「ロングサンド ホテル」

出席者：新嶋 修(S.62卒)／入澤 弘(S.33卒)／須永 進(S.34卒)／久保田 務(S.48卒)／石関 勝(S.58卒)／前原 しげ子(S.58卒)／小関 月見(S.61卒)／植木 淳(H.02卒)／浅見 一男(H.10卒)／髙橋 直樹(H.15卒)／竹之内 正行(S.47卒)／成塚 充久(H.03卒)／上村 浩治(H.04卒)／宗塚 博子(S.53卒)
[学校代表]濱水 一彦(八王子校 ｷｬﾘｱｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ 参与)
[事務局]村林 大

**●支部総会　17:00～18:00**

1.開会挨拶
　◇出席者への謝辞
2.支部活動報告
　◇校友会20周年記念行事
　◇関東･甲信越地区支部長会議
　◇新校舎完成記念祝賀会
　◇次回の懇親会計画
3.新校舎完成記念祝賀会報告
　◇理事長記念挨拶の紹介
　◇記念写真集の紹介
　◇新校舎校内見学
4.学校代表の報告
　◇自己紹介　◇芸術学部立上げの経緯
　◇蒲田校･八王子校の就職関連
　◇在校学生の学科選択の傾向について
　◇入学金免除制度について　◇大学編入制度について
5.事務局からの報告
　◇配付資料の説明　◇学校の現状について(リーフレット配付)
　◇第21回通常総会の実施結果　◇新校舎の完成について
　◇蒲田校･東京工科大学の開設　◇校友会ホームページの紹介
　◇集いの会･出欠席者情報(支部長に資料渡し)
6.役員改選

**●懇 親 会**
**18:00～20:00**

**●マジックショー**
**20:15～21:00**



# 福井県支部

■設　立：平成4年11月27日　■登録会員：165名
■支部長：笈田 義和　E-mail fukui@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

## 第10回 福井県支部会員の集い

開催日：平成22年10月11日(月)　出席者：5名
会　場：福井市「福井テレビ 喫茶店メルサ」

出席者：笈田 義和(S.45卒)／四本木 宣昭(S.37卒)／山内 幸長(S.47卒)／木村 公則(H.16卒)
[事務局]村林 大

**●支部総会　13:30～15:00**
1. 開会挨拶
　◇出席者への謝辞
2. 蒲田キャンパス再開発・新施設完成記念祝賀会の実施状況について
　◇DVD「完成 未来空間 蒲田キャンパス」
　◇写真集「蒲田キャンパス再開発 '10 新施設紹介」
3. 笈田支部長の報告
　◇２年間の支部活動　◇支部活動の活性化　◇地上デジタル放送
4. 校友会事務局からの報告
　◇配付資料の説明　◇学校の現状について（リーフレット配付）
　◇第 21 回通常総会の実施結果　◇新校舎の完成について
　◇蒲田校・東京工科大学の開設　◇校友会ホームページの紹介
　◇集いの会・出欠席者情報（支部長に資料渡し）
5. 役員改選
6. その他
　◇出席者の話題や報告など
7. 記念撮影

**●見学会　15：00～16：00**

# 山梨県支部

■設　立：平成6年5月28日　■登録会員：975名
■支部長：名取 宏典　E-mail yamanashi@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

## 第9回 山梨県支部会員の集い

開催日：平成22年11月28日(日)　出席者：16名
会　場：甲府市「レストラン ワインクラブ」

出席者：名取 宏典(H.01卒)／長田 静雄(S.38卒)／市川 芳男(S.51卒)／赤岡 賢司(S.55卒)／竜沢 信(S.56卒)／古屋 祐一(H.05卒)
[事務局]村林 大

**●支部総会　15:00～16:00**
1.開会挨拶
　◇出席者への謝辞
2.事務局からの報告
　◇配付資料の説明　◇学校の現状について(リーフレット配付)
　◇第21回通常総会の実施結果　◇新校舎の完成について
　◇蒲田校･東京工科大学の開設　◇校友会ホームページの紹介
　◇集いの会･出欠席者情報(支部長に資料渡し)
3.支部活動報告
　◇2年間の支部活動　◇今後の支部活動の活性化
　◇新校舎完成記念祝賀会　◇次回の懇親会計画
4.役員改選
5.今後の支部活動について

**●懇 親 会　16:00～18:00**

# 愛知県支部

■設　立：平成4年11月12日　■登録会員：346名
■支部長：石川 隆行　E-mail aichi@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

## 第10回 愛知県支部会員の集い

開催日：平成22年10月3日(日)　出席者：11名
会　場：名古屋市「名駅宴処 花かるた」

出席者：石川 隆行(S.55卒)／星月 征男(S.43卒)／朝日 教仁(S.45卒)／朝日 洋子(S.45卒)／河口 正博(S.46卒)／樋口 淳二(S.60卒)／東 直之(S.62卒)／河口 信弘(H.16卒)
[学校代表]濱水 一彦(八王子校 ｷｬﾘｱｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ 参与)
[校友会代表]奥川 宏(副会長・静岡県支部長)
[事務局]村林 大

**●支部総会　18:00～18:30**

1. 開会挨拶（司会・進行）
　◇出席者への謝辞
2. 役員改選
3. 校友会代表挨拶および報告
　◇自己紹介
　◇東海４県の 20 周年記念事業
　◇副会長の立場と任務
　◇校友会組織の展望
4. 学校代表報告
　◇自己紹介　◇芸術学部立上げの経緯
　◇蒲田校・八王子校の就職関連
　・キャリアサポートセンターの任務と今後の在り方
　・求人及び就職状況と企業の求める人材
　・愛知県出身の入学生数及び卒業進路
　・在校学生の学科選択の傾向
5. 校友会事務局からの報告など
　◇配付資料の説明　◇学校の現状について（リーフレット配付）
　◇第 21 回通常総会の実施結果　◇新校舎の完成について
　◇蒲田校・東京工科大学の開設　◇校友会ホームページの紹介
　◇集いの会・出欠席者情報（支部長に資料渡し）
6. その他
　◇２年間の支部活動　◇支部活動の活性化について

**●懇親会　18:30～21:00**

# 兵庫県支部

■設　立：平成5年5月28日　■登録会員：198名
■支部長：新庄 吏奈　E-mail hyogo@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

## 第9回 兵庫県支部会員の集い

開催日：平成22年8月28日(土)　出席者：8名
会　場：神戸市「中国茶専門店 彩香(サイシャン)」

出席者：原田 憲夫(S.46卒)／高水 敏昭(S.49卒)／小坂 建司(S.54卒)／松本 建一(S.59卒)／新庄 吏奈(H.04卒)／中澤 広(近畿支部)(S.55卒)／渡邊 博文(香川県支部)(S.50卒)
[事務局]猪口 眞美

**●支部総会**

松本副支部長を司会として議事が進められた。
1.支部長挨拶(新庄支部長)
　支部活動、通常総会、地区支部長会議等報告
2.事務局からの報告
　・校友会の現状と活動状況
　・2月に完成した新棟の様子と校友会ランウンジの報告
　・東京工科大学　デザイン学部、保健医療学部の開設
　・8月上旬に行われた「未来を創る教育フォーラム」報告
　・新設備完成祝賀会(10月9日)開催の件
　・兵庫県の会員数および返信数の報告
3.議　事
　役員改正支部長から次期役員案が提出され、検討の結果、以下の方々の再任が承認された。
　・支部長　新庄 吏奈(再)
　・副支部長　後郷 和雄(再)、松本 健一(再)、高水 敏昭(再)
その他
　現在の支部規定では、副支部長を4名置くことになっているが、現状は3名である。新たに1名増員するのではなく、現状のままで1名欠員とすることにした。
　他に支部長が参加者に支部活動の提案および意見を求めたが現状どおりでよいとのことであった。

**●懇親会**

# 鳥取県支部

■設　立：平成4年8月7日　■登録会員：179名
■支部長：吉村 哲正　E-mail tottori@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

# 島根県支部

■設　立：平成4年8月8日　■登録会員：166名
■支部長：藤原 義広　E-mail shimane@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

## 第10回 鳥取県・島根県合同支部会員の集い

開催日：平成22年10月16日(土)　出席者：9名
会　場：米子市「米子全日空ホテル」「ワインレストラン クスクス」

出席者：吉村 哲正(S.52卒)／古志 敏幸(S.59卒)／柳楽 正治(S.61卒)／尾崎 潔(S.45卒)／松原 ちあき(S.54卒)／藤原 義広(S.57卒)／黒目 龍弥(S.52卒)／佐伯 満也(S.56卒)
[事務局]村林 大

**●支部総会「米子全日空ホテル」　15:00～17:00**

1. 開会挨拶
　◇出席者への謝辞
2. 会員各位の近況報告
3. 吉村支部長及び藤原支部長の報告
　◇２年間の支部活動　◇支部活動の活性化について
4. 役員改選
5. 校友会事務局からの報告
　◇配付資料の説明　◇学校の現状について（リーフレット配付）
　◇第 21 回通常総会の実施結果　◇新校舎の完成について
　◇蒲田校・東京工科大学の開設　◇校友会ホームページの紹介
　◇集いの会・出欠席者情報（支部長に資料渡し）
6. DVD鑑賞会および写真集の回覧
　◇DVD「未来空間 新キャンパス（CG版）」
　◇DVD「完成 未来空間 蒲田キャンパス」
　◇写真集「蒲田キャンパス再開発 '10 新施設紹介」

**●懇親会「ワインレストラン クスクス」　17:30～20:00**

# 徳島県支部

■設　立：平成2年9月5日　■登録会員：119名
■支部長：岡本 和之　E-mail tokushimai@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

## 第11回 徳島県支部会員の集い

開催日：平成22年10月23日(土)　出席者：9名
会　場：徳島市「海鮮料理 太閤」

出席者：佐藤 博治(S.38卒)／上野 昇(S.35卒)／近藤 俊興(S.37卒)／谷崎 吉行(S.43卒)／住友 晴一(S.47卒)／岡本 和之(S.48卒)／佐野 寛己(S.51卒)／坂東 嘉彦(S.61卒)
[事務局]村林 大

**●支部総会　18:30～19:00**

1.開会挨拶
　◇出席者への謝辞　◇支部立上げからの支部活動報告
　◇支部活動の活性化について
2.事務局からの報告
　◇配付資料の説明　◇学校の現状について(リーフレット配付)
　◇第21回通常総会の実施結果　◇新校舎の完成について
　◇蒲田校・東京工科大学の開設　◇校友会ホームページの紹介
　◇集いの会・出欠席者情報(支部長に資料渡し)
3.役員改選

**●懇 親 会　19:00～21:30**

# 香川県支部

■設　立：平成2年9月11日　■登録会員：151名
■支部長：渡辺 博文　E-mail kagawa@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

## 第11回 香川県支部会員の集い

開催日：平成22年10月24日(日)　出席者：9名
会　場：高松市「桃花苑」

出席者：渡邊 博文(S.50卒)／舛形 康人(S.52卒)／古小高 弘直(S.52卒)／神内 優人(S.56卒)／守谷 稔(H.02卒)／百々 正信(H.02卒)／鉢峯 純孝(H.02卒)
[校友会代表]白石 脩(岡山県支部長)
[事務局]村林 大

**●支部総会　17:30～18:30**
1. 開会挨拶
　◇出席者への謝辞　◇会場設定の経緯報告
　◇新施設完成記念祝賀会の報告　◇２年間の支部活動報告
　◇白石岡山県支部長の紹介
2. 事務局からの報告
　◇配付資料の説明　◇学校の現状について（リーフレット配付）
　◇第 21 回通常総会の実施結果　◇新校舎の完成について
　◇蒲田校・東京工科大学の開設　◇校友会ホームページの紹介
　◇集いの会・出欠席者情報（支部長に資料渡し）
3. 校友会代表挨拶
　◇自己紹介
　◇香川県支部と岡山県支部との係わり合いについて
4. 役員改選

**●懇 親 会　18:30～21:30**

# 愛媛県支部

■設　立：平成2年8月7日　■登録会員：195名
■支部長：佐々木 剛司　E-mail ehime@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

## 第11回 愛媛県支部会員の集い

開催日：平成22年11月7日(日)　出席者：7名
会　場：松山市「松山全日空ホテル6階 中国料理 桃園」

出席者：佐々木 剛司(S.58卒)／豊島 敏弘(S.42卒)／赤松 千樹(S.42卒)／浅尾 登(S.51卒)／佐藤 公彦(S.52卒)／大西 俊雄(S.53卒)
[事務局]村林 大

**●支部総会　18:30～19:00**
1.開会挨拶
　◇出席者への謝辞　◇愛媛県支部20周年記念事業報告
　◇2年間の支部活動報告
2.事務局からの報告
　◇配付資料の説明　◇学校の現状について(リーフレット配付)
　◇第21回通常総会の実施結果　◇新校舎の完成について
　◇蒲田校･東京工科大学の開設　◇校友会ホームページの紹介
　◇集いの会･出欠席者情報(支部長に資料渡し)
3.役員改選
4.その他
　校友会ホームページ上の愛媛県支部のブログを活発化したい。

**●懇 親 会　19:00～21:00**

# 高知県支部

■設　立：平成2年9月13日　■登録会員：198名
■支部長：林 寛　E-mail kouchi@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

## 第11回 高知県支部会員の集い

開催日：平成22年11月6日(日)　出席者：7名
会　場：高知市「高知会館3F 弥生の間」

出席者：林 寛(S.52卒)／和田 修一(S.34卒)／高野 雅勝(S.44卒)／徳弘 滋(S.45卒)／浜口 幹男(S.48卒)／小松 長久(S.55卒)／安岡 要(S.56卒)
[事務局]村林 大

**●支部総会　12:00～15:00**
1. 開会挨拶
　◇出席者への謝辞　◇新施設完成記念祝賀会の報告
　◇２年間の支部活動報告
2. 事務局からの報告
　◇配付資料の説明　◇学校の現状について（リーフレット配付）
　◇第 21 回通常総会の実施結果　◇新校舎の完成について
　◇蒲田校・東京工科大学の開設　◇校友会ホームページの紹介
　◇集いの会・出欠席者情報（支部長に資料渡し）
3. 役員改選
4. 今後の支部活動について
　◇女性会員や若い会員の勧誘方法の対策
　◇関心の高いテーマやイベントの実施
5. DVD鑑賞会

**●昼 食 会　12:00～15:00**

**●懇 親 会　17:00～19:30**

# 福岡･佐賀県支部

■設　立：昭和63年10月25日　■登録会員：468名
■支部長：穴見 誠　E-mail fuku_saga@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

## 第11回 福岡･佐賀県支部会員の集い

開催日：平成22年11月13日(土)　出席者：10名
会　場：福岡市「ホテル コムス福岡」

出席者：穴見 誠(S.45卒)／田中 秀利(S.34卒)／渡邉 正弘(S.47卒)／前田 昭博(S.49卒)／内之倉 健吾(S.50卒)／古森 眞一(S.53卒)／井上 康裕(S.61卒)／廣兼 真由美(S.49卒)
[学校代表]香村 道憲(八王子校 ｷｬﾘｱｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ 副センター長)
[事務局]村林 大

**●支部総会　18:30～19:30**

1.開会挨拶
　◇出席者への謝辞
2.学校代表の報告
　◇自己紹介　◇蒲田校･八王子校の就職関連
3.事務局からの報告
　◇配付資料の説明　◇学校の現状について(リーフレット配付)
　◇第21回通常総会の実施結果　◇新校舎の完成について
　◇蒲田校･東京工科大学の開設　◇校友会ホームページの紹介
　◇集いの会･出欠席者情報(支部長に資料渡し)
4.支部活動報告
　◇福岡･佐賀支部 第10回会員の集い
　◇規約改正及び支部役員の改選
　◇校友会20周年記念行事について
　◇福岡･佐賀支部と長崎県支部との合同懇親会
　◇女性Web委員会(スカイ☆ウエブ)の立上げ
　◇その他、第21回通常総会など
5.役員改選(議長:前田副支部長)
6.平成23年度の福岡･佐賀支部の懇親会
　◇佐賀県武雄市で開催予定
7.福岡･佐賀支部Webの立上げ
　◇挨拶と自己紹介　◇今後のWebの活動方針
8.支部活動の活性化について
　「支部会員の集い」の発展を図るため、メールやWebなどの利用を活発化する方策などを検討した。

**●懇 親 会**
**19:30～21:30**

# 長崎県支部

■設　立：平成4年7月10日　■登録会員：310名
■支部長：釘山 威　E-mail nagasaki@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

## 第10回 長崎県支部会員の集い

開催日：平成22年11月14日(日)　出席者：8名
会　場：長崎市「ホテル セントヒル 長崎」

出席者：釘山 威(S.44卒)／田川 保利(S.30卒)／山内 源昭(S.51卒)／浦田 真治(S.52卒)／田中 信直(S.56卒)／髙橋 浩司(S.61卒)
[学校代表]香村 道憲(八王子校 ｷｬﾘｱｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ 副センター長)
[事務局]村林 大

**●支部総会　18:00～18:30**

1. 開会挨拶
   ◇出席者への謝辞　◇見学会の報告
   ◇今回「集いの会」への出席依頼連絡
   ◇次回「集いの会」実施予定について
2. 学校代表の報告
   ◇自己紹介　◇蒲田校・八王子校の就職関連
3. 事務局からの報告
   ◇配付資料の説明　◇学校の現状について（リーフレット配付）
   ◇第 21 回通常総会の実施結果　◇新校舎の完成について
   ◇蒲田校・東京工科大学の開設　◇校友会ホームページの紹介
   ◇集いの会・出欠席者情報（支部長に資料渡し）
4. 役員改選

**●見学会　16:00～17:30**

**●懇親会　18:30～21:30**

# 熊本県支部

■設　立：昭和63年10月24日　■登録会員：316名
■支部長：清田 茂信　E-mail kumamoto@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

## 第11回 熊本県支部会員の集い

開催日：平成22年11月20日(土)　出席者：10名
会　場：熊本市「メルパルク 熊本」

出席者：清田 茂信(S.48卒)／吉田 武(S.37卒)／家入 信明(S.50卒)／森本 正夫(S.52卒)／太田 広則(S.54卒)／一村 和也(S.55卒)／柏木 寛仁(S.57卒)／松本 高士(S.58卒)
[学校代表]香村 道憲(八王子校 ｷｬﾘｱｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ 副センター長)
[事務局]村林 大

**●支部総会　18:30～19:30**

1.開会挨拶
   ◇出席者への謝辞　◇新校舎の紹介
   ◇片柳理事長の教育理念について
2.DVD鑑賞会
3.学校代表の報告
   ◇自己紹介　◇蒲田校･八王子校の就職関連
4.事務局からの報告
   ◇配付資料の説明　◇学校の現状について(リーフレット配付)
   ◇第21回通常総会の実施結果　◇新校舎の完成について
   ◇蒲田校･東京工科大学の開設　◇校友会ホームページの紹介
   ◇集いの会･出欠席者情報(支部長に資料渡し)
5.議　事
   ◇報告
   ◇会則改正
   ◇役員改選
   ◇その他

**●懇親会　19:30～21:30**

# 宮崎県支部

■設　立：昭和63年10月21日　■登録会員：343名
■支部長：川添 守　E-mail kouchi@kouyukai.net又はkoyukai@neec.ac.jp

## 第11回 宮崎県支部会員の集い

開催日：平成23年1月29日(土)　出席者：19名
会　場：宮崎市「酒彩 くろ木」

出席者：川添 守(S.51卒)／中島 栄宗(S.43卒)／宮尾 秀穂(S.50卒)／川越 良一(S.51卒)／佐藤 三郎(S.51卒)／岡田 洋(S.53卒)／谷口 良一(S.54卒)／井出 保宏(S.55卒)／一政 利彰(S.56卒)／長井 順一郎(S.56卒)／渡辺 健二(S.56卒)／福満 勝志(S.59卒)／井上 三千代(S.60卒)／岡崎 真裕(S.63卒)／岡崎 美紀(H.02卒)／井川 陽子(H.03卒)／林田 知(H.13卒)／渡部 洋平(H.18卒)／杉田 直人(S.58卒)

**●支部総会　18:30～19:30**

1. 開会挨拶
2. 議長選出
3. 総会（議事）
   ①支部活動報告
   ②役員改選
   ③新校舎 DVD 鑑賞会
   ④今後の支部活動
4. 野鳥の会会員（井出 保宏さん）による講演

**●懇親会　19:40～21:30**

**校友会「支部会員の集い」の様子は、下記ホームページでもご覧になれます。**
**http://www.kouyukai.net/**

平成23年度
支部事業

# 支部会員の集い開催予定

支部会員の集いは2年に一度開催されます。

総会では役員改選の後、支部活動についてのご意見をお聞かせいただき、その後の懇親会では地元の校友との情報交換やネットワークづくりの活発化を図ってまいります。また、講演会、研修会、見学会、レクリエーションなどを積極的に企画している支部もあります。

お知り合いの校友、姉妹校（八王子校・北海道校・東京工科大）の卒業生をお誘いのうえ、多数ご参加いただけますようお願い申し上げます。

| 支　部　名 | 開催月日（曜） | 開　催　地 | 支　部　長 |
|---|---|---|---|
| 北海道支部 | 9月23日(金) | 旭川市 | 平井 康美 |
| 青森県支部 | 11月19日(土) | 青森市 | 野里 和弘 |
| 宮城県支部 | 11月19日(土) | 仙台市 | 清水 幸男 |
| 秋田県支部 | 10月 1 日(土) | 秋田市 | 高橋 伸 |
| 山形県支部 | 10月 2 日(日) | 山形市 | 鈴木 幸雄 |
| 茨城県支部 | 10月19日(土) | 水戸市 | 廣瀬 憲治 |
| 首都圏支部 | 10月29日(土) | 蒲田校 | 桂田 忠明 |
| 新潟県支部 | 10月 9 日(日) | 三条市 | 植木 敏郎 |
| 富山県支部 | 10月29日(土) | 蒲田校 | 石黒 明 |
| 石川県支部 | 10月15日(土) | 小松市 | 山岸 誠次 |
| 長野県支部 | 10月22日(土) | 松本市 | 峯村 理雄 |
| 岐阜県支部 | 11月13日(日) | 岐阜市 | 番場 日出喜 |
| 静岡県支部 | 11月 6 日(日) | 静岡市 | 奥川 宏 |
| 三重県支部 | 11月 5 日(土) | 四日市市 | 平井 正博 |
| 京都・滋賀支部 | 10月22日(土) | 大阪市 | 倉持 信二 |
| 近畿支部 | 10月22日(土) | 大阪市 | 中澤 広 |
| 岡山県支部 | 11月12日(土) | 岡山市 | 白石 脩 |
| 広島県支部 | 12月 4 日(日) | 広島市 | 福岡 孝司 |
| 山口県支部 | 12月 3 日(土) | 山口市 | 平岡 征男 |
| 大分県支部 | 10月 8 日(土) | 大分市 | 麻生 和之 |
| 鹿児島県支部 | 11月26日(土) | 鹿児島市 | 久山 順一 |
| 沖縄県支部 | 11月 5 日(土) | 那覇市 | 徳田 永伸 |
| 韓国支部 | 調整中 | | 李　芙暻 |
| 台湾支部 | 調整中 | | 唐　偉倫 |

**卒業生の集まる会**

宮古島地区 ……11月12日(土)　於：宮古島市
八重山地区 ……11月13日(日)　於：石垣市
福岡･佐賀支部 ……11月23日(水)　於：武雄市
長崎県支部 ……11月23日(水)　於：武雄市
群馬県支部 ……12月 3 日(土)　於：高崎市
＊日程は都合により変更することがあります。



# 母校の歩み

学校法人 片柳学園

## 日本工学院専門学校

本校は、昭和22年東京都大田区蒲田の一角に戦災の灰燼を払い校舎を建設し、「創美学園」として発足し平成19年、創立60周年を迎えることができました。これ迄に約13万5千人の卒業生を実社会に送り出し、卒業生の皆さんがそれぞれの分野での活躍が社会的にも高く評価され、本校がここまでに発展してこられたのも卒業生の皆さんのご活躍のお陰と感謝しております。

## 昭和22年(1947)～昭和27年(1952)

## 「創美学園」の創設

昭和20年6月、米軍B29爆撃機により大田区蒲田周辺も爆撃を受け、多大な被害を被り一面焼け野原となり、戦争の傷跡も生々しく残る大田区蒲田の一角に22年5月、戦災の灰燼を払い学舎を建て**「創美学園」**を創設したのが本校沿革の第一歩である。

▲片柳理事長

▲昭和22年　創立時の校舎

このような時期に片柳理事長(当時26才)は復興の原動力は若者であり、若者達の教育こそが急務であると考え、創立当初は、**絵画**、**洋裁**の2学科とし、翌23年に**編物科**を開設した。

25年には**珠算科**、**英語科**(初等、中等、高等の3クラス)を開講、学生数も1,000名に達した27年には本格的幼児教育として**幼稚園**を開設し、また、洋裁・編物と同様技芸教育の一環として**人形科**を開設した。

また、新しい技術教育として2年後に予定されているテレビ放送開始を控え、テレビ技術者が必要となることが予想されることから、26年テレビ技術者養成教育の計画を立て具体的準備作業に入ったが、テレビ技術者の養成は全く新しい分野であり、確立された教育内容や教育体制の事例がなく未知のもので困難を窮めたが、片柳理事長自身、かつて東京東芝電気㈱に籍をおいたことから、東京芝浦電気㈱関係者や関係団体の協力を得ることができ、テレビ技術者の養成計画が整ってきた。

## 昭和28年(1953)～昭和30年(1955)

## 「日本テレビ技術学校」を開校、テレビ技術者養成を開始

### ❖ テレビ技術者の養成を開始

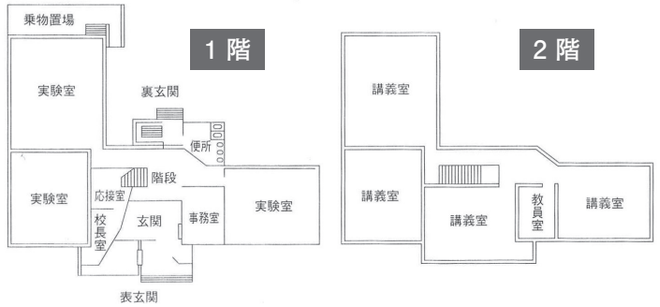
昭和28年、これまでの校舎の近隣地(現1号館の位置)に木造モルタル2階建て延べ面積1,320㎡(約400坪)の校舎を建設し、完成と同時に「**日本テレビ技術学校**」を開校する運びになった。

昭和28年2月1日、NHK東京テレビ局が我が国初のテレビジョン放送を開始した。本校も同年9月、「日本テレビ技術学校」を設立し、東芝関係者の協力を得て、元東芝第四部長、日本コロンビア㈱取締役大塚雄二氏を学校長に迎え、9月15日、第一期生80名を迎え「日本テレビ技術学校」を開校した。開校式には来賓として高柳健次郎博士をお迎えし、高柳博士は新入生を激励し祝辞を述べられた。

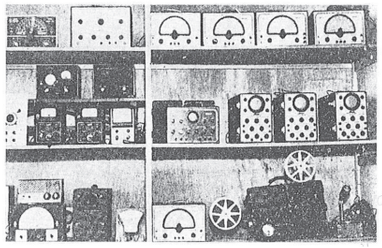
▲二代校長
故 大塚 雄二
在任期間:1953.10～1964.10

▲昭和28年　木造モルタル校舎

大塚校長は、東京帝国大学卒業後、東芝に入社し、第四部長を務め、その間、米国で真空管製造技術について研究し、日本で最初の真空管に関する文献「受信真空管」を残し、サプレッサーグリットを「抑制格子」と命名したことで知られている斯界の権威者である。



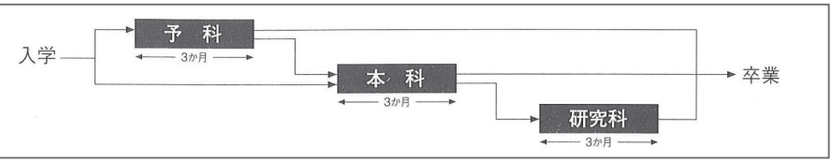

当時、テレビ受像機は17吋で25万円、テレビ受像機の部品も高価であり、品薄で器材を入手することが困難であり、**開校当初の実習設備としてテレビ受像機6台、スイープゼネレータ6台、オシロスコープ6台、マーカーゼネレータ6台、テスター10台**を整えるのが開校当初としてはこれが望み得るものの限度であった。



▲開校時の実習用測定器類

開校当初は、ラジオ技術を身につけている者を対象に新しい分野としてテレビ技術を学ぼうとする者で、夜間のみで3ヶ月の短期養成から始めたが、ラジオ技術の知識の無い者からも入学の希望が多く寄せられたため、ラジオ技術の初歩から修得できる**予科(夜間3ヶ月)**と、テレビ技術を修得する課程を**本科**とし、本科修了後更に高度な技術を修得する**研究科**を新しく設置した。

**昭和28年 学科編成図**



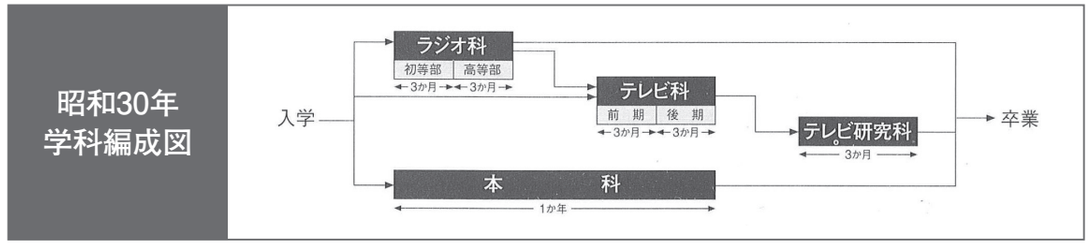
当初、教授陣は、日本無線工業会の協力を得て、東芝を中心として、日本ビクター、八欧無線、日本コロンビア等各社の第一線で活躍している技術者と交渉して講師を依頼し、教科書も無い時代で各教授陣が手作りによるガリ版刷りテキストを用意して授業を開始した。

また、学生募集には、理事長自ら立て看板を作り、自転車やリアカーで都内はもとより、神奈川、埼玉県下まで足をのばし看板を立て、ポスターを貼るなどして募集活動を行った。

▲学生募集に走る理事長

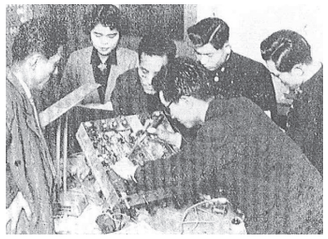
### ❖ 昭和30年校名を「日本テレビ技術専門学校」と改称

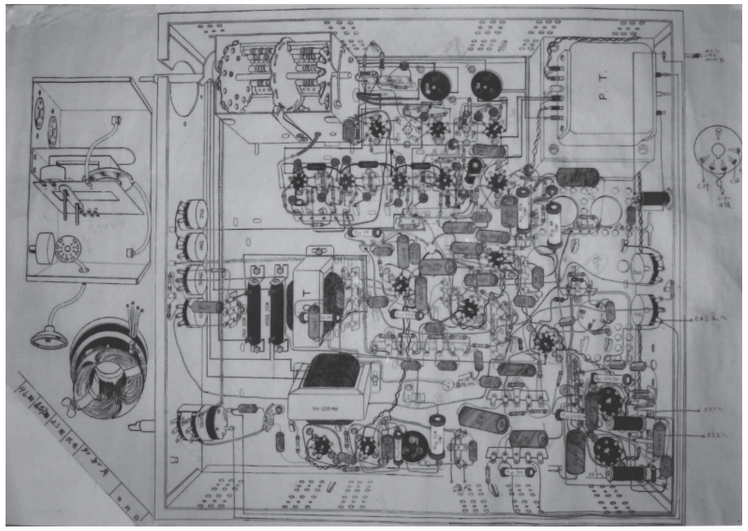
校名を「**日本テレビ技術専門学校**」と改称し、**同時に従来の「創美学園」を廃園**とした。また、4月から従来の夜間部に加え昼間部を設け下図のような学科編成とした。




### ❖ テレビ組立実習を主体とした授業

教育内容は当初から実習を主体とし、テレビ組立実習は5～6名で1台組立を行い、出来上がってブラウン管を取付け、電源スイッチを入れ、映像が映った瞬間の感激は大変なもので、まさしく感動の喜びの歓声が上がった。しかし、当時テレビの部品は高価で、一人1台の組立実習は出来なかったことから、テレビのシャーシーと、抵抗・コンデンサーなど部品の実物大印刷物が各人に配られ、抵抗・コンデンサーなど部品を切り抜き、シャーシー図面上に貼り図上配線を行ったが、実際の組立より抵抗コンデンサーなど部品の配置や配線が難しく大変勉強になった。


▲待望のテレビ組立実習


▲図上配線図



## 昭和31年(1956)～昭和32年(1957)

## 専門教育機関として学校法人としての許可を受け教育体制の確立

昭和31年、専門教育機関としてその基盤強化を図るため、校名を「**日本テレビ技術専門学校**」と改称し、私立学校の規定に基づき学校寄付行為の許可申請を行い、学校法人「日本テレビ技術専門学校」として許可を受け、テレビ技術者養成の専門教育機関として名実ともにその体制を整えた。

### ❖ 清瀬一郎先生本校の名誉学校長に就任

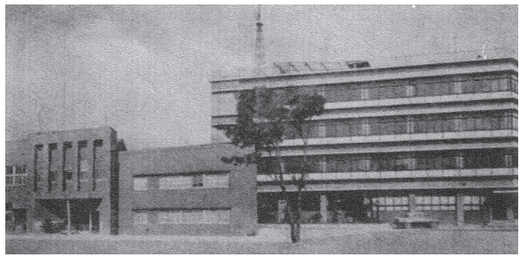
本校顧問　菊地義郎衆議院議員の紹介で、清瀬一郎文部大臣が4月、入学式に来賓としてご臨席を賜り、更に片柳理事長の懇請を快諾され、翌32年、本校名誉学校長に就任された。

▲名誉校長
故 清瀬 一郎

## 昭和33年(1958)～昭和40年(1965)

## 本格的校舎を建設し、放送技術者・無線従事者養成を開始
## 新校舎(1号館)の建設教育体制の確立

教育体制の確立が進むにしたがって当初の予想どおり、年々学生数も増加し在校生2,000余名に達し、新たな入学希望者も多いことから教育環境の整備と実習整備の充実を図るため、32年12月、隣接地(現2号館前)561㎡(170坪)を購入し、従来の敷地と合わせ1,056㎡(320坪)となり、12月の卒業式を1週間繰上、従来の木造モルタル2階建校舎を購入地に牽引し、33年1月の入学式に間に合わせ、その跡地に鉄筋4階建て延べ面積2,364㎡(715坪)の本格的校舎(現1号館)を総工費4,800万円で建設、33年9月完成した。(その後、昭和42年に5階に増築された)


▲牽引した木造モルタル校舎と新校舎

▲昭和33年に完成した新校舎(1号館)

### ❖ カラーテレビ科を新設

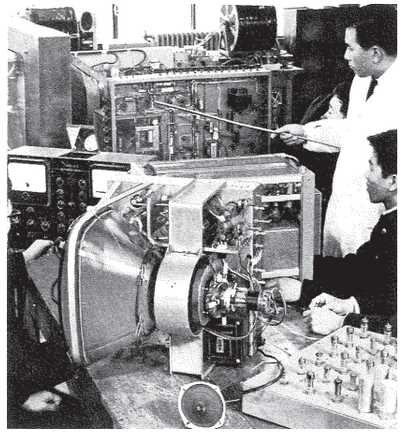
昭和33年7月、カラーテレビ時代に先駆けて修業年限3ヶ月の**カラーテレビ科**を新設した。

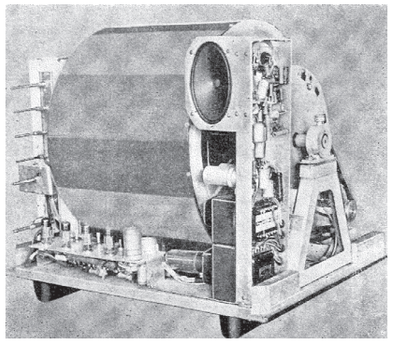
我が国ではカラーテレビの研究は25年頃から始められたが、当時、米国ではカラーテレビの標準方式として色円版の回転によるフィールド順次のCBS方式を標準方式として採用し、26年、CBS方式によるカラーテレビ放送を開始したが、朝鮮戦争のためカラーテレビ受像機の製造は中止されカラーテレビ放送も中断された。

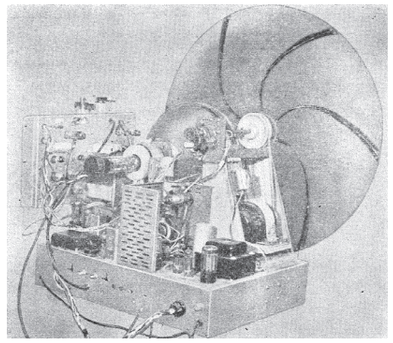
朝鮮戦争後、再びカラーテレビ標準方式が検討され、28年12月、白黒テレビとカラーテレビが両立するNTSC方式をカラーテレビ標準方式として決定、29年初めにNTSC方式によるカラーテレビ放送が再開された。

我が国においても、28年以来NTSC方式による開発が進み、NHKは32年12月カラーテレビ実験放送を開始した。郵政省は調査の結果「NTSC方式は必ずしも完璧とは言えないが、NTSC方式もしくはそれに準ずるもの以外の方式は見当たらない」との報告を行い、35年6月、NTSC方式をカラーテレビ放送の標準方式として決定し、35年9月、NHKをはじめ民間テレビ放送四局がカラーテレビ本放送を開始した。

本校でも、カラーテレビの研究が進み、円板式カラーテレビ受像機を試作。また、35年に本校独特の方式による14吋ドラム方式カラーテレビ受像機を開発、実用新案特許登録した。


▲カラーテレビの実習


▲14吋　ドラム方式のカラーテレビ受像機


▲円板方式のカラーテレビ受像機

▲昭和33年新校舎（1号館）玄関前にて職員の記念写真

### ❖ 放送技術部の新設

これまで5年間テレビ受像機に関する技術者の養成を行ってきたが、32年10月にはNHK7局、民間テレビ34社36局にテレビ放送予備免許が交付され、33年4月から全国に相次いでテレビ局が開局した。このような情勢から、今後、放送技術者、無線従事者の不足が予想されることから、新校舎完成にともない、33年10月、テレビ専門部卒業生を入学対象とした、**第二部（夜間）、修業年限1ヶ年の放送技術部**を新設し、第一期生42名が入学した。翌34年4月入学から高校卒業生を入学対象とした第一部、第二部、修業年限2ヶ年の学科も新設した。

### ❖ テレビスタジオ装置の導入

放送技術者の本格的教育を行うため、34年3月、当時放送局にしかなかったイメージオルシコンテレビカメラ装置、音声調整卓、テープレコーダなどスタジオ装置一式を1,000万円を投じて購入し、新校舎（1号館）2階に設置しテレビスタジオ実習室とした。

▲テレビスタジオにおける実習風景

### ❖ テレビ入学式の挙行

昭和34年になると入学生も飛躍的に増加し、学生数も3,300名に達した。このため、34年4月の入学式は池上の大田区区民会館で挙行し、式場に入りきれない父兄のため別室にテレビ受像機を設置し、式場に購入したばかりのテレビカメラを持ち込み、入学式の進行状況を逐一別室にテレビ中継した。

父兄からはテレビ受像機に映し出された入学式風景を見て「**どこのテレビ局から放送されているのですか**」とか、「**さすがテレビ学校だ**」と驚きの声も聞かれ、テレビのニュースや翌日の新聞にも報道されるなどテレビ入学式が大きな話題となった。

▲34年4月大田区民会館でのテレビ入学式

### ❖ 羽田国際空港から日本橋三越へテレビ中継

34年9月、運輸省航空局と航空協会からの依頼で羽田国際空港から航空機の離着陸状況を日本橋三越の「航空展覧会会場」にテレビ実況中継を行うことになった。

テレビ実況中継は、本校の中継車とテレビカメラ装置を使い、第一期放送技術部学生により5日間、当時は航空機の便数が少なく毎日3～4回テレビ中継を行い学習成果を発揮し、関係者から高く評価された。

▲羽田空港におけるテレビ実況中継

### ❖ 待望の多摩川寮が完成

年々入学生も地方出身者が増加し、これ迄は民間アパートを借上げ本校指定寮としたり、下宿の斡旋をしてきたが、入学生の増加にともない地方出身者が増加し、学生寮設置の要望が高まり、34年10月、学生寮を建築し「**多摩川寮**」とした。多摩川寮は、鉄筋4階建て延べ面積1,405㎡で多摩川を望む大田区仲六郷四丁目にあり、一室が当時の公団アパートの2DKの広さで、和室6畳と4畳半からなり96室で寮生260名収容でき、別棟に鉄筋コンクリート建ての学生食堂を併設した。

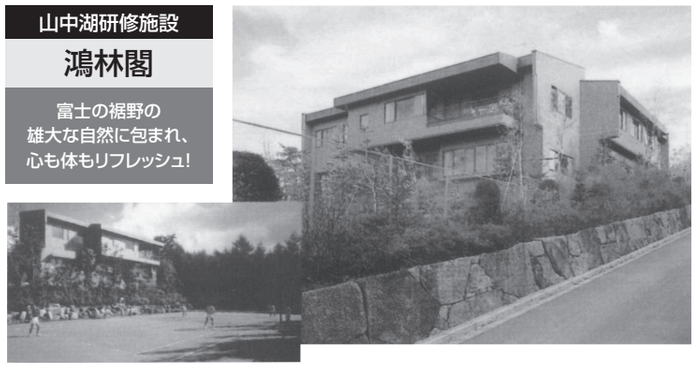
▲多摩川寮　昭和33年完成

### ❖ 厚生施設として山中荘を建設

厚生施設として、山梨県の山中湖に、36年8月「山中荘」を建築した。山中荘は、敷地面積2,380㎡、木造2階建て（延べ面積217㎡）で、客室8室、応接室を設け、富士山と湖水を一望に眺められる景勝の地にあり、学生、職員の憩いの場として利用されている。その後、山中荘は老朽化してきたため、55年10月、鉄筋2階建て延べ面積570㎡（172坪）、25名宿泊できるよう建てかえられ「鴻林閣」と改称した。

▲山中湖畔に建てた山中荘

山中湖研修施設
**鴻林閣**
富士の裾野の
雄大な自然に包まれ、
心も体もリフレッシュ!



山中湖研修施設「鴻林閣」は富士五湖の一つ山中湖にほど近い旭ヶ丘別荘地区にたたずむリゾートスペース。夏休みなどにテニスを楽しんだり、湖畔をゆっくりと散歩したり、大自然とふれあいながら思いおもいのリゾートタイムを楽しめる。

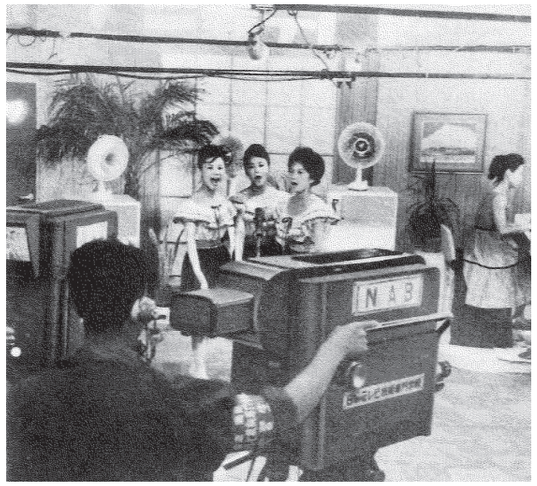
### ❖ 第二級無線技術士学校認定受く

昭和33年11月、電波法の改正により無線従事者規則が全面的に改正され学校認定制度が設けられた。

本校も、この認定基準に基づき放送技術部の教科目の再編成を行い、第二級無線技術士学校認定申請を行い、第一回の認定は36年4月、大学16校が認定され、本校は、36年9月、第二回目の認定で各種学校としては全国でただ一校の認定を受けた。

### ❖ 日本橋三越の電波展でテレビスタジオ公開放送

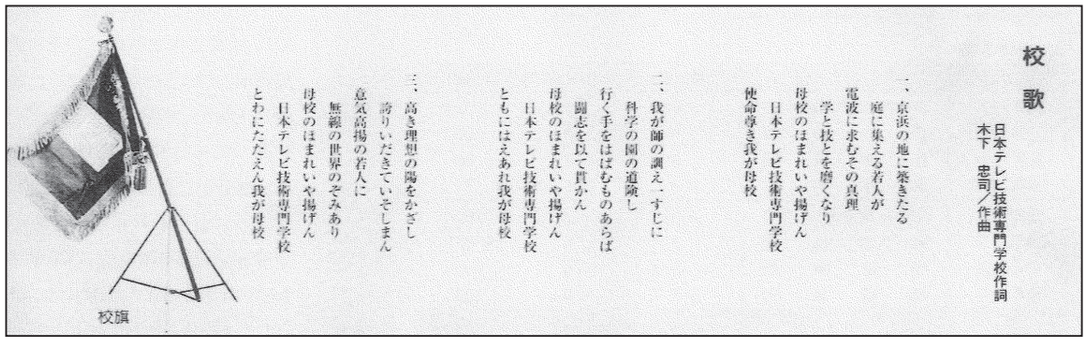
36年6月、電波記念日の行事の一環として民間放送連盟がテレビスタジオ公開放送を計画し、その実施について協力の依頼を受け、本校のテレビスタジオ装置を日本橋三越デパートの「電波展会場」に持ち込み仮設スタジオを設置し、第5期放送技術部学生により一週間、テレビCM制作テレビ実況放送の一般公開を行い好評を得た。



▲日本橋三越デパートにおいてCM制作テレビ実況放送

### ❖ 校歌の制定

昭和36年に校歌が制定された。校歌の作詞は学校、作曲は木下忠司氏によるもので、歌手三鷹淳により吹き込まれた。当時襟章は、学生による八木アンテナをモチーフにしてデザイン化された作品である。


校歌

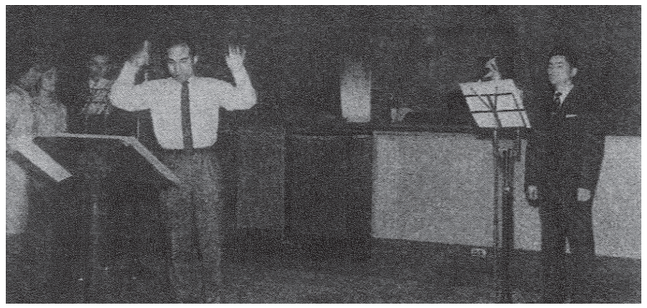
日本テレビ技術専門学校作詞
木下　忠司／作曲

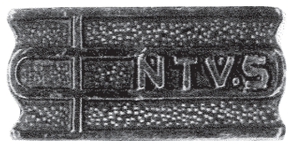
一、京浜の地に集きたる
庭に集える若人が
電波に求むその真理
学と技とを磨くなり
母校のほまれいや揚げん
日本テレビ技術専門学校
使命尊き我が母校

二、我が師の調え、すじに
科学の園の道険し
行く手をはばむものあらば
闘志を以て貫かん
母校のほまれいや揚げん
日本テレビ技術専門学校
ともにはえあれ我が母校

三、高き理想の陽をかざし
誇りいだきていそしまん
意気高揚の若人に
無線の世界のそみあり
母校のほまれいや揚げん
日本テレビ技術専門学校
とわにたたえん我が母校

校旗


◀歌手　三鷹淳による校歌の吹き込み



▲襟章

長年、皆さんが歌い親しまれてきた校歌も、その後、校名が「日本テレビ技術専門学校」から「日本工学院専門学校」に改称され、更に、芸術学部の新設にともない校歌の歌詞の一部を変更してきたが、平成15年、新たな校歌が制定された。

新たな校歌の作詞、作曲は、日本を代表する諸先生にお願いし、「科学・芸術の道を進み」、「光、夢、希望、そして愛」と母校を愛する素晴らしい校歌である。

作詞･作曲家の略歴

作詞：川口幹夫氏

東京大学国文学科卒業

NHK会長、NHK交響楽団理事長など、多くの要職を歴任

作詞については、旧制七高記念祭、寮歌など。

作曲：神津善行氏

国立音楽大学器楽科卒業

作曲家、音響誌「月山」など、他に多くの映画音楽を作曲。

歌謡曲は「星空に両手を」、「新妻に捧げる歌」など、多くの作曲を手掛ける。

奥様は、女優の中村メイコさん

### ❖ 放送技術部研究科を新設、第一級無線技術士国家試験免除認定を受く

放送技術部卒業生を入学対象に、更に1年教育し第一級無線技術士の資格取得を目的とし、38年4月、**放送技術部研究科**を新設し、第二部のみで発足、第一期生として22名入学した。

翌年4月から第一部（昼間）を設置し、第一級無線技術士学校認定申請を行った。第一級無線技術士学校認定は4年制大学を認定基準としているが、本校は、放送技術部二ヶ年、研究科一ヶ年の通算三ヶ年課程として申請し、研究科生の第一級無線技術士予備試験の合格率が78%と高く、この実績と、実験設備等が高く評価され、特例により40年3月、この種の学校としては初めての第一級無線技術士学科認定を受けた。

## 日本工学院専門学校 校歌

作詞　川口幹夫　　作曲　神津善行

1 大空に　陽は輝いて
多摩川の　めぐみの大地
若者は　時代を担い　進み行く
進み行く科学の道を
光、夢、希望（のぞみ）　そして愛
おお、日本工学院　われらが母校

2 富士の秀峰（みね）　遠く仰げば
溢れるよ　青春の息吹き
若者は　肩組み合って　進み行く
進み行く芸術の道を
光、夢、希望（のぞみ）　そして愛
おお、日本工学院　われらが母校

### ❖ オリンピック放送に技術補助員として放送技術部学生が参加

昭和39年10月10～24日の15日間東京オリンピックが開催された。また、10月1日東海道新幹線が営業を開始した。

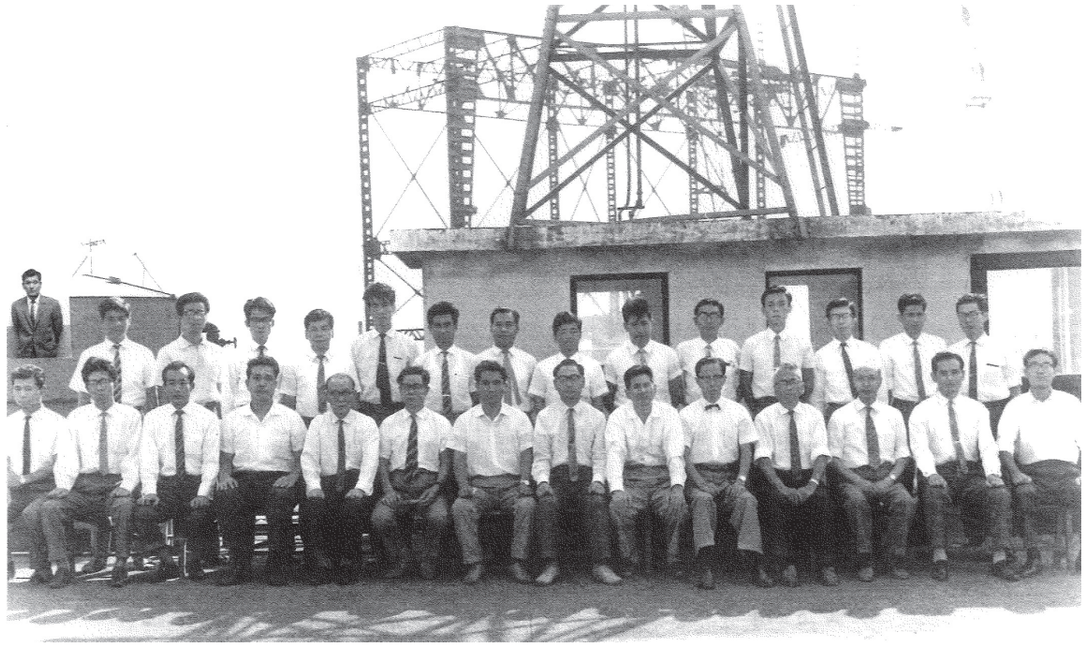
NHKでは、オリンピック競技の実況放送を行う技術者が不足し、本校に技術補助員の要請があり、本校は学生30名を技術補助員として派遣し、水泳、マラソン、ボクシングなど各競技のテレビ実況中継に活躍し、日頃の放送技術教育の成果が認められ、放送業界から高い評価を受けた。

▲マラソンテレビ実況中継

### ❖ 校名を「日本電子工学院」に改称

これ迄の改名「日本テレビ技術専門学校」では電子工学の一分野のテレビ技術に限られる印象を与えるため、電子工学、無線工学など全般にわたる教育を指向していることを明らかにするため、学生に直接参加を呼びかけ愛校心の高揚を図るため、学校側からいくつかの新校名案を示し、アンケート調査の結果「**日本電子工学院**」が圧倒的多数となり、39年10月、「**日本電子工学院**」を新校名として改称した。





▲昭和39年9月　教育職員記念写真

### ❖ 大塚雄二校長逝去

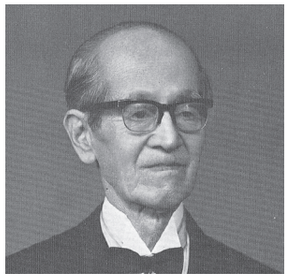
昭和28年9月以来10余年にわたり、学校長として本校の発展に尽力された大塚雄二校長が急性肺炎のため39年10月26日、70才で逝去されました。本校にとっては深い悲しみであり、大きな損失である。

大塚校長は、学研肌で教育には厳しかったが、反面庶民的な親しみと温かさを感じさせ、その飾らない人柄が校長に接したすべての人々から慕われていた。

### ❖ 工学博士　関重弘氏第三代学校長に就任

大塚校長の逝去にともない、後任の学校長に工学博士　関重弘氏が就任された。

関新学校長は大塚校長と東大に同期で入学された仲間でしたが、関校長は若い時は病弱で、大学は大塚校長より2年後に卒業され、東芝に入社され、照明工学一筋の研究生活を送られ、照明学界の重鎮として知られており、44年11月　勲三等瑞宝章を授与された。



▲三代校長
故 関 重広
在任期間:1964.11～1982.2

### ❖ サービス技術部を新設、電気工事士養成施設として認定を受く

近年、ラジオ･テレビはもとより、電気洗濯機、電気冷蔵庫、クーラなど、電化製品が普及し、サービス･エンジニアと、屋内電気工事のための電気工事士の養成を目的として、40年4月、**第一部、第二部、修業年限2ヶ年のサービス技術部**を新設した。

設置と同時に、電気工事士養成施設として必要な実習設備を整え、電気工事士養成施設として認定申請を行い、翌41年5月、他校に先がけ通商産業大臣より電気工事士養成施設として認定された。これにより卒業生は電気工事士の試験が免除され、卒業の際、電気工事士の免許が与えられる事になった。

▲電気工事士の実習

▲家電電化製品の実習

### ❖ 全館冷暖房完備の近代的新校舎（2号館）が完成

教育環境の整備を図るため、全国の学校としては初めての全館冷暖房空調完備、地下1階、地上8階建て延べ面積6,069㎡（1,836坪）の近代的新校舎（2号館）が39年8月完成した。

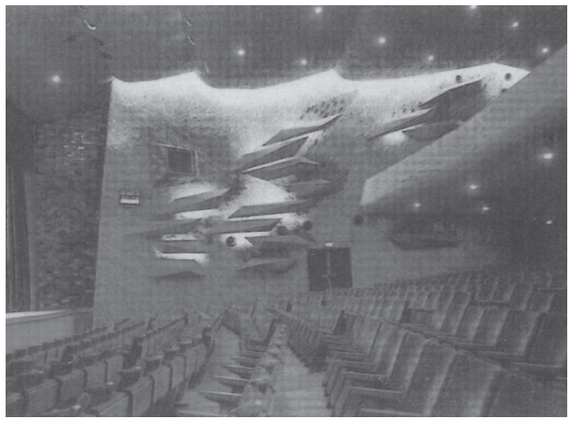
新校舎の7・8階は、建築音響の権威であるNHK技術研究所の中島平太郎博士の技術協力を得て、音響効果や音響設備についても十分配慮した座席数919席の大ホールを設けた。

当時、テレビ中継でお馴染みの“ロッテ歌のアルバム”など多くのテレビ局の公開放送にも利用された。

学院のシンボルとなる外壁には、角浩画伯の作品、宇宙時代、原子力時代の現代若者の大きな希望を具象的にダイナミックに表現した「**宇宙への希望と平和**」と題した巨大モザイク大壁画（横15m、縦12m）で飾られた豪華な仕上げの近代的校舎である。

▲新校舎（2号館）完成

▲学院のシンボルの壁画



▲音響効果を誇る大ホール

昭和41年以後は、次号48号に続きます。





## 平成22年度 卒業証書授与式

平成22年度卒業証書授与式は、この度の東日本大震災の影響を鑑み中止となり、平成23年3月25日（金）キャンパス内の教室にて、各学科クラスが午前と午後に分かれて、担任より卒業証書の授与を実施しました。

### ◉ 平成22年度卒業生保護者の皆様へ ◉

平成22年度本校卒業生および保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

この度は、東北地方太平洋沖地震の影響を鑑み、本来予定していた形での卒業式を実施することができず非常に残念ではありますが、この卒業の日を迎えられましたことを嬉しく思います。また卒業生関連の方々で今回の地震で罹災されました方には衷心よりお見舞い申し上げます。

本校は昭和22年の開学より64年に亘り、実社会に直結する即戦力を有する人材を育ててまいりました。この64年間も日本においては多くの困難な出来事もありましたが、およそ20万人に上る本校卒業生たちが様々な分野においてその日本の社会の成長を支える大きな原動力となってきました。また現在の東北地区においての復興作業にも多くの本校出身の人材が携わっております。

歴史に残るこの未曾有の出来事が起こった年に皆様は社会へと巣立っていきますが、先輩たちが築いてきた日本経済の復興が急ピッチで行われていく中、本校で学んだ専門知識を基に個々が進む多岐に亘る分野においてその要へと成長し、ご活躍されることを切に期待しております。

未筆ではございますが、本校教職員を代表いたしまして卒業生の皆様への挨拶の言葉と代えさせていただきます。

平成23年3月25日
日本工学院専門学校
学校長　千葉 茂

## 平成23年度 入学オリエンテーション

平成23年度入学式は、この度の東日本大震災の影響を鑑み実施せず、代わりに「入学オリエンテーション」という形で、下記のとおり開催しました。

- 平成23年4月11日（月）、12日（火）
- 3号館地下1階大講義室

入学オリエンテーション当日は、多くの新入生と教員一同が集まり、キャンパス内には活気が戻りました。特に新入生たちが見せる満面の笑顔には、震災を一時忘れてしまうほど、明日への希望と喜びに満ち溢れていました。

# 第45回 かまた祭

## テーマは「逸才合祭」

平成22年度「第45回かまた祭」はメインテーマ『「逸才合祭」(いっさいがっさい)～咲かせてみせよう!!かまた祭～』のもと、2010年10月30日(土)31日(日)2日間行われました。

蒲田にとって初となる、日本工学院専門学校・東京工科大学同時開催で例年以上のかまた祭実行委員会(専門学校実行委員会・大学実行委員会KST)の在校生は輝きを放ち逞しくなっていったのが印象的でした。

台風が近付く中での開催ということで緊張感ある中、今回は○メイン会場:セントラルプラザ(新3号館北側)、○サブ会場:リバーサイドプラザ(1・2号館前)、の他に片柳記念ホール(新3号館B1F)、3号館、6号館、12号館で行われました。天候の悪化に伴い、急遽新3号館1Fエントランスホールにおけるステージで行われた。

理事長・副理事長のオープニングセレモニーによりかまた祭はスタートされ、テーマにそぐう学部・学科参加の講演会出展、芸能人・大道芸を招いたステージ、一般参加(クラス単位、サークル単位、任意グループ)、模擬店(飲食、物品販売)、音楽演奏が開催されました。また、同窓会(校友会首都圏支部事業)や、ギャラリー鴻におけるレコードジャケット展も開催されました。

蒲田校新キャンパスにおける新たな数々の催し、専門学校生・大学生のコラボレーションを実現すべく頑張りましたが天候には叶わず初日夕刻に全員の安全を考え残念ながら以降のイベントはやむなく中止となりました。

今秋にも「第46回かまた祭」が行われます。第45回かまた祭の分まで確り充実させますので、是非校友会の皆様のご協力ご来訪をお願い致します。

# 第42回 体育祭

## テーマは「FinePlay! ～クラスメイトの絆で～」

5月25日(水)に第42回体育祭が大井ふ頭中央海浜公園で開催されました。今年度は、東日本大震災の影響で例年に比べて体育祭の準備の時間に制限があり一時は開催も危ぶまれました。そうした中、連日100名を越す体育祭実行委員の学生の皆さんが、一生懸命に企画や準備をしてくれ、本当にすばらしい体育祭となりました。オープニングは、恒例となった感のあるダンスパフォーマンス科のチアリーダーの皆さんとの準備体操からスタート。その後、昨年に引き続き今年も「長州小力」さんがサプライズゲストとして登場、更にお笑いコンビ「ぼれろ」のお2人も会場を盛り上げてくださいました。また、総合スポーツ用品メーカー「ミズノ株式会社」様がサポートとして参加してくださり、賞品提供・サポートして下さいました。今年の特色として、球技は「ドッヂボール」のみとなりましたが、全校の各クラスが同じ種目で競うということで一体感が生まれ例年には無い白熱した盛り上がりとなりました。今年のテーマは「FinePlay!～クラスメイトの絆で～」このテーマどおり、運営した学生も、参加した学生も日本全体に元気がないこの時期だからこそ、いつもより深い絆で盛り上がった体育祭でした!

# 第46回 かまた祭のお知らせ

平成23年度第46回かまた祭は、新蒲田キャンパスで専門学校と東京工科大学との共同開催となり、10月29日(土)、30日(日)の2日間で行われます。斬新なアイデアと企画で、昨年以上に盛り上げようとスタッフ一同大いに張り切っています。是非、後輩の活躍をご覧下さい。多くの方々のご来場をお待ちしております。

# キャリアサポートセンターからの報告

キャリアサポートセンターでは就職･デビュー･進学など学生の多様な進路をサポートしています。3月の震災の影響や社会状況が大きく変化し、厳しい環境の中であるにも関わらず、当校を巣立ち様々な分野で活躍されている先輩方のおかげで、求人を頂けております。とても感謝しております。

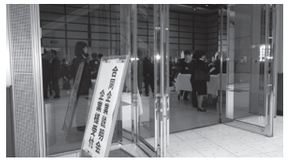
一般就職においては、業界ごとの採用時期に合わせた企業説明会も例年通り開催し、多くの企業様と学生の出会いの場を提供しています。説明会会場にて、本校を卒業した先輩方の会社も多く、暖かい対応を身近に感じながら説明を聞いている状況に、先輩方を頼もしく思いました。

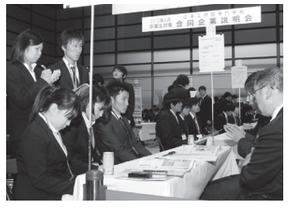
ぜひ業界の情報もお聞きしたいと思いますし、Uターン情報などの求人情報がございましたら、ご一報願います。新校舎3号館1階のキャリアサポートセンターに、ぜひお立ち寄りください。お待ちしております。なお、ご求人に関しては、当校のホームページより求人登録をすることもできますので、ご利用ください。

今後とも校友会の皆様の更なる後輩学生へのご支援･ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 平成23年度 キャリアサポートセンター行事日程表（一部掲載）

| 項 | 開催予定日 | 期間 | 行事名 | 参加予定 | 場所 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 平成23年3月10日（木） | 1日 | IT&テクノロジー企業合同説明会（卒業期対象） | 50社 実施済み | 本校 |
| 2 | 平成23年4月20日（水）～平成23年4月22日（金） | 3日間 | 春季合同企業説明会（卒業期対象） | 325社 実施済み | PIO 産業プラザ |
| 3 | 平成23年9月28日（水） | 1日 | 秋季合同企業説明会（卒業期対象）予定 | 45社 予定 | 東京都産業貿易センター |
| 4 | 平成23年11月10日（木） | 1日 | 医療合同就職説明会（卒業期対象）予定 | 45病院 予定 | 本校 |
| 5 | 平成23年11月12日（土） | 1日 | 声優･俳優科 プロダクション合同説明会（卒業期対象）予定 | 35社 予定 | 本校 |
| 6 | 平成23年11月30日（水） | 1日 | 音楽系企業合同セミナー（1年生対象）予定 | 20社 予定 | 目白デサント 椿ホール |
| 7 | 平成23年11月18日（金） | 1日 | 就職模擬試験（1年生対象）予定 | — | 各教室 |







# 平成23年3月 教職員退職者報告

永年ご指導くださいました次の先生方が、定年または一身上のご都合により退職されましたのでお知らせいたします。

| 氏　　名 | 所　属　等（退　職　時） |
|---|---|
| 宮原 夏子 | 蒲田校　医療カレッジ |
| 東保 潤の介 | 蒲田校　医療カレッジ |
| 濵本 達雄 | 蒲田校　医療カレッジ |
| 鈴木 正光 | 蒲田校　クリエイターズカレッジ |
| 金 ビョドゥル | 蒲田校　クリエイターズカレッジ |
| 橋本 英章 | 蒲田校　テクノロジーカレッジ |
| 小松 眞理子 | 蒲田校　教務部　学生課 |
| 高 明舜 | 蒲田校　教務部　学生課 |
| 沼澤 重成 | 蒲田校　教務部　資格支援センター |
| 小澤 喜和 | 法人本部　広報部広報課 |
| 青木 和一 | 法人本部　広報部広報課 |
| 篠原 文雄 | 法人本部　総務部総務課 |
| 平野 省一郎 | 八王子校　キャリアサポートセンター |
| 佐藤 誠一 | 東京工科大学　事務局　業務課 |

小澤 喜和

蒲田･北海道･八王子校と通算42年間進路相談等で、多くの方々とお話が出来たことが私の宝です。

小松 眞理子

楽しかった学校勤務を終了し、新たな道を歩み始めました。卒業生の皆様多くの事に挑戦をして大きな樹になってくださいね。

▼Eメールアドレス
kev-0111.usako@docomo.ne.jp

佐藤 誠一

卒業生のみなさん、学生時代の友人こそ生涯の宝です。いつまでも大切にしてください。

鈴木 正光

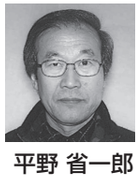
私の演劇人生で、毎日を学生諸君と共に学び、行動した4年間は大層貴重な時でした。

▼Eメールアドレス
masumoto-kamatalm@-ne-jpdocomo

濵本 達雄

日々の努力が多くの命を救う!
皆様の益々の活躍を期待しています。

▼Eメールアドレス
t-hama@tottori-med.jrc.or.jp



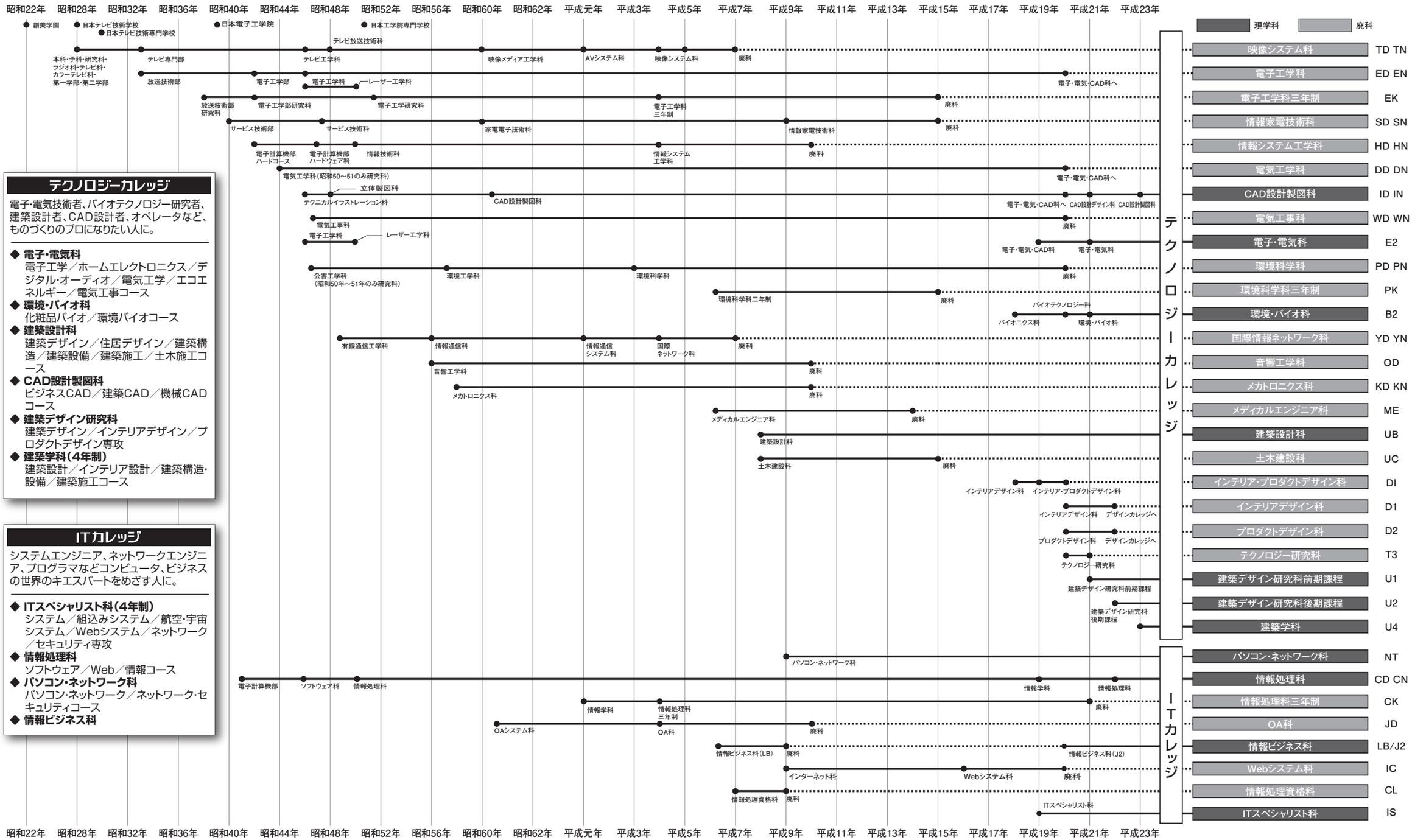
平野 省一郎

既に定年は迎えておりましたが、嘱託職員での継続勤務も期間満了となり退職をする事になりました。在職中は地方父母懇談会など、皆様には大変お世話になりました。

# 蒲田校　学科の変遷

## 実践的なカリキュラムで学べば、あなたの未来は無限大。
## あらゆる業界をカバーする多彩な学科群。

日本工学院（蒲田）には、それぞれに高い専門性を備えた6つのカレッジのもと、個々の分野で真に社会で求められているプロを養成するための多彩な学科がある。学問のための学問ではなく、職業人として必要な教養とスキルを磨くために練り上げられた実践的なカリキュラム。それらは、日本工学院という1つのキャンパスに集うことでまったく新しいコラボレーションを生む可能性をも秘めている。




### テクノロジーカレッジ

電子・電気技術者、バイオテクノロジー研究者、建築設計者、CAD設計者、オペレータなど、ものづくりのプロになりたい人に。

- ◆ **電子・電気科**
  電子工学／ホームエレクトロニクス／デジタル・オーディオ／電気工学／エコエネルギー／電気工事コース
- ◆ **環境・バイオ科**
  化粧品バイオ／環境バイオコース
- ◆ **建築設計科**
  建築デザイン／住居デザイン／建築構造／建築設備／建築施工／土木施工コース
- ◆ **CAD設計製図科**
  ビジネスCAD／建築CAD／機械CADコース
- ◆ **建築デザイン研究科**
  建築デザイン／インテリアデザイン／プロダクトデザイン専攻
- ◆ **建築学科（4年制）**
  建築設計／インテリア設計／建築構造・設備／建築施工コース

### ITカレッジ

システムエンジニア、ネットワークエンジニア、プログラマなどコンピュータ、ビジネスの世界のキエスパートをめざす人に。

- ◆ **ITスペシャリスト科（4年制）**
  システム／組込みシステム／航空・宇宙システム／Webシステム／ネットワーク／セキュリティ専攻
- ◆ **情報処理科**
  ソフトウェア／Web／情報コース
- ◆ **パソコン・ネットワーク科**
  パソコン・ネットワーク／ネットワーク・セキュリティコース
- ◆ **情報ビジネス科**

## クリエイターズカレッジ

ゲームやアニメ、CG、テレビや映画で活躍するディレクターや声優・俳優、デザイナーなどをめざしたい人に。

- ◆ **放送・映画科**
  カメラマン／照明／映像編集／サウンド／美術／制作コース
- ◆ **声優・俳優科**
  声優／俳優・タレント／舞台スタッフコース
- ◆ **クリエイティブラボ（4年間）**
  高度アニメーション／高度ゲーム／高度CGコース
- ◆ **マンガ・アニメーション科**
  マンガ／アニメーション／キャラクターデザインコース
- ◆ **ゲームクリエイター科**
  ゲームプログラミング／ゲームプランニング／ゲームCGコース
- ◆ **CGクリエイター科**
  CGデザイン／CGアニメーション／CG映像・VFXコース

## デザインカレッジ

デザイン力、キャリアデザイン、人間形成の3要素をバランスよく学び、ワンランク上のデザイナーをめざす人に。

- ◆ **グラフィックデザイン科（3年制）**
  グラフィックデザイン／イラストレーションコース
- ◆ **Webデザイン科（3年制）**
  Webデザイナー／Flashコンテンツ専攻
- ◆ **インテリアデザイン科（3年制）**
  インテリアデザイナー／インテリアコーディネーターコース
- ◆ **プロダクトデザイン科（3年制）**
  プロダクトデザイナー／カーデザイナー／家具デザイナー／雑貨デザイナー専攻

## ミュージックカレッジ

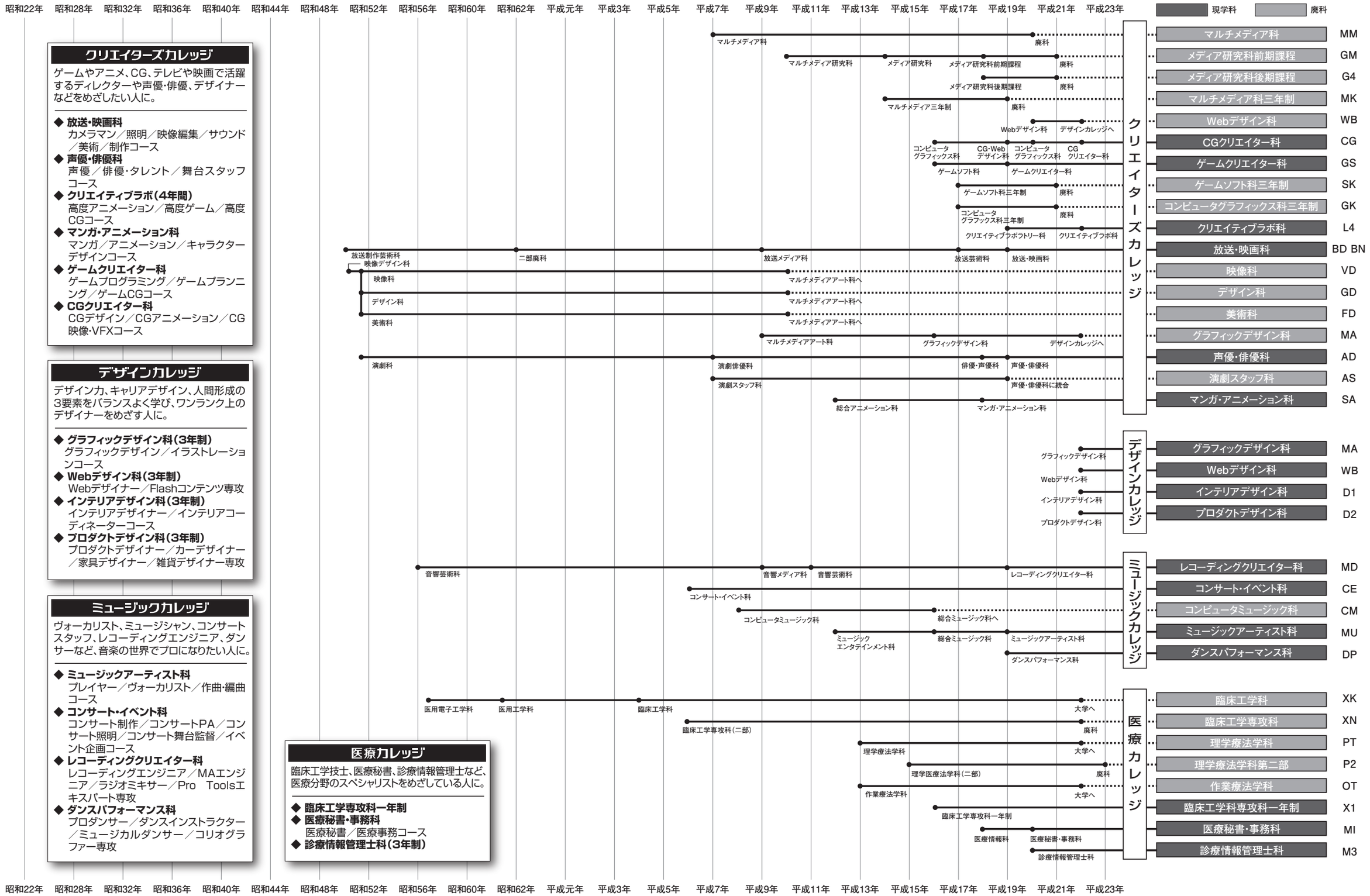
ヴォーカリスト、ミュージシャン、コンサートスタッフ、レコーディングエンジニア、ダンサーなど、音楽の世界でプロになりたい人に。

- ◆ **ミュージックアーティスト科**
  プレイヤー／ヴォーカリスト／作曲・編曲コース
- ◆ **コンサート・イベント科**
  コンサート制作／コンサートPA／コンサート照明／コンサート舞台監督／イベント企画コース
- ◆ **レコーディングクリエイター科**
  レコーディングエンジニア／MAエンジニア／ラジオミキサー／Pro Toolsエキスパート専攻
- ◆ **ダンスパフォーマンス科**
  プロダンサー／ダンスインストラクター／ミュージカルダンサー／コリオグラファー専攻

## 医療カレッジ

臨床工学技士、医療秘書、診療情報管理士など、医療分野のスペシャリストをめざしている人に。

- ◆ **臨床工学専攻科一年制**
- ◆ **医療秘書・事務科**
  医療秘書／医療事務コース
- ◆ **診療情報管理士科（3年制）**



## 日本工学院専門学校「校友会」　首都圏支部 平成23年度行事のお知らせ

# 平成23年10月29日(土)[かまた祭期間]
# 首都圏支部総会および校舎見学会と懇親会を実施いたします。
# 是非皆さまお誘い併せの上、ご来校ください。

**皆さま、学友をお誘い併せの上、ご来校ください!**

10月29日(土)、30日(日)の二日間「かまた祭」が行われます。
この時期に下記のとおり、見学会、総会、講演会、懇親会を行います。当日は卒業生の皆さまには模擬店で利用できる「金券」を40%OFFで販売いたします。是非、ご利用ください。

**見学会・首都圏支部総会・講演会・懇親会　平成23年10月29日(土)**

- **見　学　会**　12:00～14:30　3号館12階 校友会ラウンジ
- **首都圏支部総会**　15:00～　3号館10階 31005教室
- **講　演　会**　16:00～　3号館10階 31005教室「やさしい放射線のはなし」
- **懇　親　会**　17:30～19:00　6号館2階 フーズフー
  懇親会会費：1,000円　見学会・講演会・懇親会のみの参加可

**お問合せ先**　日本工学院専門学校　校友会事務局　☎03-3732-8183



# 校友・交遊　集まってます!

## 岡山県津山市で「会員の集い」を開催

校友会岡山県支部では2011年4月7日、県北津山市衆楽園で「会員の集い」を開催しました。

当日は天候にも恵まれて、枝垂桜のそばで6名が参加、持ち寄った弁当、つまみ、そしてカンビールで1年振りの再会を楽しみました。

話題の中心は昨年完成した蒲田新キャンパス、「新施設紹介資料 」を囲んで在学中当時との様変わりに驚いていました。

また、震災発生後の知人の安否や福島原発事故の放射能汚染についても大変心配していました。

## 校友会「近畿支部」懇親会 報告

日　時：平成22年9月11日(土) 13:00～21:30
見学会：平城遷都1300年祭「平城宮跡会場」、「東大寺」13:00～17:30
懇親会：奈良県奈良市「北京料理　奈良百楽」18:30～21:30

●見学会
懇親会に先立ち、見学会を実施した。
近鉄奈良駅前に集合後、平城遷都1300年祭の平城宮跡会場と東大寺を見学しました。

●懇親会
懇親会は11名の出席者で、近鉄奈良駅構内の「北京料理　奈良百楽」で実施した。
今回は兵庫県支部と沖縄県支部の会員の方も出席されました。
中華料理の香り漂う円テーブルを囲み、中澤支部長の挨拶に続き、事務局からのリーフレットでの学校紹介と新校舎完成の紹介などの報告後、沖縄県支部の徳田 永伸さんの乾杯の音頭で懇親会が始まった。
会員同士の近況報告及び名刺交換と情報交換などで和やかな雰囲気で会は進んだ。
閉会の一本締め後、出席者一同が記念写真に納まり懇親会を終えた。

## 校友会「青森県支部」懇親会 報告

日時：平成22年9月18日(土) 17:30～20:30
場所：青森県青森市「ラ・プラス 青い森」

懇親会は、新会員2名を含む10名で、市内の「ラ・プラス 青い森」で実施した。

会場には、片柳理事長の絵画が数十枚展示されていた。野里支部長の挨拶があり、濱水参与の報告および事務局からの報告後、濱水参与の乾杯の音頭で懇親会が始まった。

会員同士の近況報告に耳を傾ける中、名刺交換や情報交換などで和やかな雰囲気で会は進んだ。

最近話題となっている政治政策の課題、業界の不景気や円高状況など、幅広い話題で盛り上がった。また、ポータブルDVDプレイヤーによるDVD観賞会にも花が咲いた。

展示中の片柳理事長の絵画でお気に入りの一枚を、それぞれが記念品とした。

出席者一同が記念写真に納まり懇親会を終えた。

## 校友会「宮城県支部会員の集まる会」報告

日時：平成22年11月21日(日)18:00～21:00
場所： 仙台市「菜時季 大原」

参加者は9名で、東副支部長の乾杯の音頭で始まり、美味しい料理と美酒を嗜みながら、気心が知れた会員同志の和やかな雰囲気に包まれた。

自己紹介では、近況報告や健康管理、趣味の分野の紹介などがあり、話題としては、温泉巡りと濁酒の逸話、仙台から大阪までの日帰り出張、ゴルフの楽しさ、居酒屋経営のノウハウ、血液検査のモルモット体験、国勢調査委員担当時の苦労話等の話に花が咲いた。

次期総会の企画について検討後、三浦さんの閉会・一本締めと記念撮影で会を終えた。

## 校友会「富山県支部会員の忘年会」報告

日時：平成22年12月11日(土)17:30～19:30
場所：富山市「富山第一ホテル レストラン・コメドール」

参加者は10名。村尾 和行さんの乾杯の音頭で始まり、バイキング料理と美酒を嗜みながら、気心が知れた会員同志で実施した。近況報告や健康管理及び趣味の分野などの話題に花が咲いた。

次回の「会員の集い」企画の検討後、石黒支部長の閉会挨拶と記念撮影で会を終えた。

校友会ホームページ上の**「校友会全国支部ブログ」**および**「同窓会等のお知らせ」**で、各支部の活動報告、懇親会・親睦会報告、同窓会報告などの記事が掲載されておりますのでご覧ください。
校友会ホームページのアドレス　**http://www.kouyukai.net**

学校法人片柳学園の設置する学校（日本工学院専門学校、日本工学院八王子専門学校、日本工学院北海道専門学校、東京工科大学）卒業生子女、兄弟姉妹および孫又は在校生の兄弟姉妹が入学する際に入学金を免除する制度です。

該当する方は以下のいずれかの方法で用紙を取り寄せ、出願時に出願書類と共に提出してください。

兄弟姉妹同時入学の場合は、一人分の適用となりますので入学後に教務課へ申請し、手続を行ってください。

※「入学金免除申請書」の受付は、平成24年3月31日までとします。

### 「各種資料請求用紙」にて請求

入学募集要項の
「各種資料請求用紙」にて請求
↓
教務課より
「入学金免除請求書」を送付
↓
必要事項を記入・押印
↓
出願書類と共に教務課へ郵送

### WEB

日本工学院専門学校ホームページ
（www.neec.ac.jp）
↓
画面左側、「卒業生のみなさんへ」
↓
入学金免除制度説明ホームページ
（www.neec.ac.jp/graduate/ob.html）
PDFファイルにて
「入学金免除申請書」をダウンロード
↓
必要事項を記入・押印
↓
出願書類と共に教務課へ郵送

# かまた題字作家紹介

本校校友会誌の表紙題字は人間国宝の芹澤銈介（セリザワ ケイスケ）先生の筆によるものです。先生は本校1号館、6号館東側に流れる呑川の上流約150mに架かる馬引橋近くに、昭和9年から居を構えられ、爾来50年にわたって蒲田の地で型絵染の創作活動に没頭されておられました。昭和42年（1967年）10月発行の日本電子工学院研友会（校友会の前身の名称）会誌第2号以来表紙を飾っています。

## 芹澤 銈介 先生　略歴

明治28年（1895）静岡市に生まれる。
大正 5 年（1916）東京高等工業学校図案科卒業。
大正14年（1926）朝鮮の旅に出て京城及び慶州仏国を訪れる。往路、船中にて「大調和」誌の口絵及び柳宗悦氏の「工芸の道」に感動、生涯の一転機となる。
昭和 3 年（1928）沖縄紅型に感銘を受ける。
昭和 6 年（1931）雑誌「工芸」が創刊され、その表紙を一年間受持つ。その型染布表紙は装幀の仕事への端緒となる。
昭和 7 年（1932）国画会会員・川端康成「雪国」装幀。
昭和 9 年（1934）東京蒲田町に移る。初めて仕事場に恵まれる。
昭和13年（1938）柳宗悦氏他民芸同人と共に沖縄に渡り紅型の技を受ける。
昭和20年（1945）型染めカレンダー創始。
昭和24年（1949）女子美術大学教授となる。
昭和31年（1956）型絵染で重要無形文化財保持者（人間国宝）の指定を受ける。
昭和38年（1963）大原美術館工芸館第二期の棟方・芹澤両館落成。
昭和41年（1966）スペインのバルセロナにあるカタルーニャ美術館を訪れ、永年の念願を果す。その程復途上、エジプト、トルコおよび欧州各地を巡遊。紫綬褒章を受ける。
昭和51年（1976）文化功労者となる。フランスの国立グラン・バレ美術館において「芹澤介展」開催。
昭和58年（1983）フランス政府から芸術功労勲章を贈られる。
昭和59年（1984）4月5日死去（享年89歳）。

## 個人情報保護についての取組み

日本工学院専門学校校友会（以下校友会）では、個人情報保護法に基づき会員の個人情報の保護について、以下の取組みを実施しております。

●校友会が保有する個人情報の適正な取扱いをするために、個人情報の保護に関する規程を定めました。
●会員の個人情報は、必要な情報のみを適正かつ公正な手段によって収集させていただいております。得られた個人情報は、校友会誌「かまた」の発送ならびに学校法人片柳学園日本工学院専門学校および姉妹校（以下学校）からのお知らせを発送する際に利用いたします。また、会員に対する校友会窓口（koyukai@neec.ac.jp）を明示し、会員からの連絡が速やかに受けられるように致します。
●校友会では、会員よりいただいた個人情報を適切に管理し、会員本人の同意がない限り、校友会以外の第三者に対する個人情報の提供は致しません。
●個人情報の取扱いを含む業務を委託する場合は、受託者との間で契約により個人情報の再提供・漏洩などをしないよう義務づけを致します。
●会員が自己の個人情報に関して、開示・修正・変更等を希望される場合には、校友会窓口（koyukai@neec.ac.jp）までご連絡いただければ、迅速に対応致します。
●校友会では、上記の項目について、見直し・改善の必要が発生した場合には、適宜対応していきます。

会員近況メッセージ

# お元気ですか？

全国から、海外からこの1年間に、校友会事務局に届いた会員の皆さんの近況報告。
思わぬ名前を見つけて、懐かしい顔や声が思い浮かんだり、その元気そうな様子にほっと胸をなでおろしたり・・・。このコーナーが、そのような温かい出合いや思いを多くの皆さんにお届けできたら幸いです。なお、誌面の都合で掲載できなかったお便りもありましたことをおわびいたします。

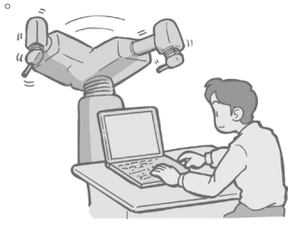
氏名（旧姓）　学科／期　勤務先　住所（都道府県）の順で表示しています。

**松木 貴美枝**　芸術専門課程 美術科 第12期生　福島県

おかげさまで「いわき市保健所ボランティアさんたちとの思い出」という作品名で「高齢・障害者雇用支援機構理事長奨励賞」を受賞させていただきました。（絵画です。）

**浅川 忠彰**　情報処理科 第28期生
**日本電産トーソク㈱**　山梨県

来年4月で日本電産トーソク㈱自動車部品事業部に入社して20年になります。現在は生産管理に配属しています。パソコンを使って生産計画管理を行っています。専門学校で培ったスキルが役立っています。当社では幅広く自動車部品を製造してます。主なものに無段連動コントロール・バルブ（日産、富士重、スズキ、デンソー）があります。



**松田 宏明**　医用電子工学科 第2期生　福井県

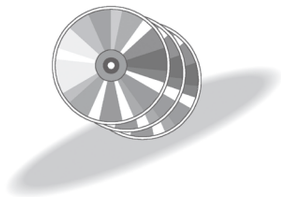
息子3人がいますが、長男が今年大学へ進学しました。二男、三男が母校へ進学してくれたらうれしく思い母校の話をしています。

**及川 智恵子**（旧姓:高橋）　ソフトウェア情報科 第13期生　岩手県

工学院で学んだ事を真逆の仕事をしています。根っからのお世話やきのせいか、ヘルパーから55才で介護福祉士の国家資格を取り訪問のヘルパーをしています。1対1、人と人との関わりに生きがいを持って仕事をしています。あと何年働けるか解りませんが、利用者さんの笑顔をみたくて…頑張ります。今年は特に暑いですのでお体ご慈愛ください。

**菊地 博**　映像科 第20期生
**田中機電工業㈱**　岩手県

現在ビデオ制作会社を経営し来年度は法人化を目指しています。色々な事が求められ大変な事もありますが夢をおいかけがんばってます。



**金子 寛**　電気工事科 第25期生
岩手県

卒業して12年経ちました。今でも学校で学んだことは現在でも活かされています。卒業できてよかったと思います。

**大西 俊雄**　電気工学科 第15期生
**新日本無線株式会社**　愛媛県

同期卒業の皆様如何おすごしでしょうか?　私は64才になりましたが気持ちの上では常に28才です。65才で定年退職する予定ですが、その先余生が20年在るとして挑戦する事が3点です。すべて達成する事が夢です。

**須永 直人**　映像メディア工学科 第38期生
栃木県

日本工学院は日々成長し、私が通っていた蒲田校も立派な建物となり自慢のキャンパスになりました。驚きと同時に羨ましさもあります。現在の仕事を取り巻く状況は決して楽なものではありませんが、勢いある日本工学院に刺激されて、自分も頑張らなくてはという思いに駆られました。

**石塚 修**　ソフトウェア科 第14期生
栃木県

コンピューターの仕事は、15年前に離れ、現在病院で介護福祉士として働いています。パソコンが上手に扱えるオジさんとして働いています。

**林 徳治**　公害工学科 第9期生
栃木県

月日の流れがはやく、卒業して28年がすぎました。校友会誌を見るたびにわずかながら在校時代を思い出します。そして現在も元気で頑張っています。

**高梨 晃一**　情報処理科 第31期生
栃木県

6月から単身赴任で本社(横浜)勤務となりました。慣れない業務で悪戦苦闘の毎日です。週末は自宅へ帰省して家族との団らんを楽しんでいます。

**小関 月美**　情報処理科 第29期生
群馬県

今、資格試験の受験準備をしています。受験料が4万越えるので慎重になります。きっと合格すればもっと仕事に自身が持てる様になると思います。皆さんに合うまでに合格していれば良いのですが…。

**井川 陽子**　音響芸術科 第9期生
宮崎県

宮崎県立芸術劇場で、舞台技術の仕事をしています。22年は、宮崎県にとって大変な年でした。全国のみなさんからの励ましに勇気をもらいました。ありがとうございます。

**根井 隆一**　環境工学科(第二部) 第13期生
群馬県

私は現在前橋市内の農業高校に公仕(現業職員)として勤務しています。生徒にも日本工学院を勧めてはいるのですが、東京の学校への進学は難しいようです。また、調理師や栄養士、パティシエなどを目指す生徒も多く、今後は日本工学院のスポーツカレッジに「健康栄養科」などを開設すれば行く生徒も出て来ると思います。さらに、東京工科大で教員免許が取れるようにする事も重要でしょう。わが国では、人件費の安い国に工場を移転している事で国内に若者の働く場がありません。常に就職に強い工学院であり続けてください。



**佐藤 博治**　放送技術部 第8期生
徳島県

今年3月45年間勤めた社を去り、本格的?な年金生活者になりました。68歳、世間では立派な老境の身なれどどこかで自分はまだまだという自負が抜け切れません。一方で自由な時間を享受しなければならない。

**田中 秀利**　テレビ研究科 第23期生
福岡県

卒業後CATVの設計から施工関連を約45年間続け、退職後は地上デジタル受信などについて改修工事の変更図面作成や見積り等を時々行っています。その他は月に2～3回程度山登りをして過ごしています。

**伊川 広幸**　情報処理科 第27期生
**㈱サイバースペーステクノロジー**　東京都

ソフト会社を起業して15年になります。クラウド時代の黎明が告げられた今、果敢に挑んでいます。老若男女問わず有志者を募集中です。

**武蔵 龍太郎**　環境科学研究科 第7期生
**国際石油開発帝石㈱**　東京都

今年社会人10年目を迎え、5月に転職をしました。天然ガス石油業界で技術研究をしています。環境の問題をかかえている業界でもあるので前職以上にがんばっていきたいです。

**油谷 晃治**　公害工学科 第7期生
**ファインネクス㈱**　富山県

在学中、もっと真剣に授業を聴講しておけばよかったと後悔しきりです。当時のノートを引っ張り出し勉強しながら日々悪戦苦闘してます。

**岡部 洋二**　立体製図科 第11期生
**日立コンピュータ機器㈱**　神奈川県

貴校卒業後、入社した会社も既に28年となり、入社以来続けて来た筐体設計(大型計算機→小型RAID装置へと変わり)も体調を崩し、入社以来初めて職場が変わる過渡期を迎えています。

**市村 明**　放送制作芸術科 第7期生
**㈱エフエフ東放**　東京都

卒業して30年弱。何故か蒲田の住人になってしまいました。毎日母校をながめながら通勤しています。工学院の発展に目を白黒させています。

**浜戸 三徳**　テレビ専門部 第1期生
埼玉県

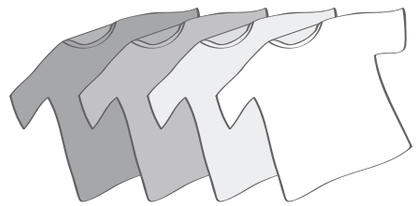
校友会誌ありがとうございます。日本ビクターを定年退職後、農業(野菜づくり)と趣味の木彫りに取り組み、地域展に出展、元気に過ごしています。

**木村 健治**　情報処理科 第37期生
**㈲弘栄堂**　東京都

卒業してから17年、早いものです。父の会社を継いで立派に?社長?をやっております(笑)。小企業で厳しいですががんばっています。

**斉藤 瞳**　グラフィックデザイン科 第12期生
**㈲タカハマライフアート**　東京都

Tシャツ会社で勉強の応用をしながら、様々なデザインに触れ仕事をしています。オリジナルTシャツ・スウェットはタカハマライフアートへ! *^^*



**藤平 雅紀**　臨床工学科 第17期生
**玄々堂君津病院**　千葉県

血液浄化業務全般、ME業務を中心に働いています。卒業して9年、XK17期のみなさん元気にしてますか～。

**国分 泰守**　放送技術部 第10期生
**㈱アエロホン**　神奈川県

満67才で会社を立ち上げました。定年までは日本ビクター㈱に勤務、在職中のつながりで現在、オリエンタルランドの音響映像の仕事です。

**相築 裕**　放送制作芸術科 第1期生
**飛鳥交通(株)上尾営業所／こぐま座**　東京都

埼玉上尾市内のタクシー会社に勤務、その傍ら以前仕事をしていた劇団に依頼あった場合参加、出演しております。

**髙橋 賢司**　電子工学科 第50期生
**鹿児島地方気象台**　東京都

卒業して10年程蒲田で働いていましたが、現在は三鷹の電機メーカーで働いています。久しぶりに蒲田へ足を運びたくなりました。

**長谷川 博順**(旧姓:木下)　テレビ専門部 第11期生
福島県

今年11月14日自身作曲家活動20周年記念パーティーを会津若松ワシントンホテルで行います。

**高橋 光行**　電子工学科 第47期生
**日本アイ・ビーエム㈱**　宮城県

卒業後コンピュータ業界で25年、ハードウェア保守に従事しています。新しい技術を学ぶ日々の連続ですが、年々覚えるのに苦労しています。蒲田で学んだ頃に比べ、少し頭の切れの衰えを感じています。一緒に学んだ皆さん、お元気ですか?

**小座間 崇**　コンサートイベント科 第8期生
**サウンドファイブ**　東京都

卒業後色々な会社を渡り歩きましたが、今は音響会社で働いています。結婚もして、今は奥さんとウサギ(みう)と暮しています。日々、ウサギの奥深さに感嘆としています。可愛いです。モフモフしています。

**木谷 浩**　情報処理科 第26期生
**相模原中央病院**　神奈川県

情報処理を卒業後、汎用機のエンジニアとして勤務し、その後川崎の病院へ転職し医療現場で医療システム化を行った結果病院業務を覚え、その後相模原の病院へ転職し、今は病院業務全般の立案、管理業務を行ってます。毎年工学院の後輩が入職してます。同級生のみなさんもたまには近況教えてくださいね。

**金安 卓児**　放送制作芸術科 第4期生
**イヌイ倉庫㈱**　東京都

会社で運営していた会員制スポーツクラブの支配人を任されていましたが、残念ながら閉鎖となりました。現在は会社の大型賃貸マンションのサービス部門を担当しております。自分の勉強してきた内容と全く違う業界ばかりですが、工学院で学んだ内容は意外な程役立っています。まだまだ51歳、人生これから。何時までも青臭く、エネルギッシュに仕事もプライベートも楽しんでいきます。

**野村 龍夫**　研究科 第31期生
神奈川県

卒業して早くも50年も経ってしまいました。勉強していた頃はとても楽しかった。当時習った事は未だ憶えていて孫に教えています。当時は全てアナログで今みたいにデジタルでは有りませんでしたが、基礎を勉強して於いたので今でも若い人とも話出来るよう、PCは毎日『株、FX』をしています。毎日6時間はPCの前にいます。夕方10,000歩運動の為歩きます。毎日が楽しいですよ。年金と不動産取得ですが毎月妻と車で温泉旅行『片道200キロ迄』しています。10年前アメリカに住んでいましたので来年春にはアメリカの友達の家に行くつもりです。アメリカの方が進んでいて医学、薬、電子書籍、その他色々、勉強になります。

**千葉 達也**　電子工学科 第51期生
千葉県

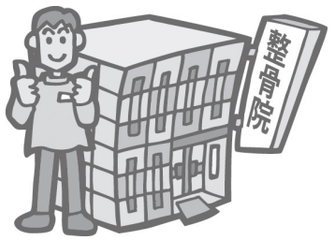
卒業から20年経ちました。当時の就職倍率は8倍だったと記憶しますが、今では考えられないような時代でした。20年の間に多くの企業が倒産しましたが、幸いにも私が就職した会社は生き残っています。引き続き、長きに渡り活かせる技術、知識を教育し、給与や名前よりも将来性のある業務を行っている会社への就職ができる学校であってほしいと思います。

**樋口 淳二**　電子工学科 第7期生
愛知県

8月にフィリピンの子会社から帰任しました。初めての海外生活4年3ヶ月は良い経験になりました。赴任中に会社の仕組みが大きく変わりいろいろ戸惑う事ばかりです。厳しい時代ですので環境変化へ柔軟に対応できる様頑張っていきたいと思います。今後ともよろしくお願いします。

**松本 政己**　メカトロニクス科 第2期生
大阪府

鍼灸の免許を取って整骨院に勤務して6年目。四十の手習いで地元へ帰って頑張っています。体力的にはしんどい時もあるけれど、いい五十歳を迎えたいと思いながら頑張る毎日です。




**星月 征男**　電子工学科 第18期生
愛知県

新校舎竣工おめでとうございます。片柳鴻理事長の潰れない学校創りの集大成の成功を祈念します。私事では、IT会社を退職後の福祉を目的に設立した、NPO活動も5年目になり軌道に何とか乗ってきました。片柳鴻理事長にとても及びませんが、年齢に関係なくこれからもチャレンジをしたいと計画しています。

## 心からご冥福をお祈り申し上げます。

### 校友会会員の次の方々の訃報が届きました。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 長谷川 真一さん | 昭和63年 | 映像科 | 12期卒業 | 平成22年没 |
| 斉藤 賢治さん | 昭和61年 | 音響芸術科 | 4 期卒業 | 平成22年没 |
| 伊勢 一夫さん | 昭和49年 | 公害工学科 | 1 期卒業 | 平成17年12月1日没 |
| 遠藤 正行さん | 昭和52年 | 公害工学科 | 4 期卒業 | 平成20年12月没 |
| 菅野 五郎さん | 昭和48年 | 情報処理科 | 10期卒業 | 平成22年3月12日没 |
| 千葉 恵 さん | 昭和55年 | 情報処理科 | 23期卒業 | 平成16年没 |
| 原 幸広さん | 昭和59年 | 情報処理科 | 28期卒業 | 平成19年5月27日没 |
| 竹田 敏彦さん | 昭和60年 | 情報処理科 | 28期卒業 | 平成21年6月12日没 |
| 加藤 満明さん | 昭和60年 | 情報処理科 | 28期卒業 | |
| 白澤 聡太郎さん | 昭和63年 | 情報処理科 | 31期卒業 | 平成21年11月30日没 |
| 横山 貴悟さん | 平成 3 年 | 情報処理科 | 34期卒業 | 平成21年10月31日没 |
| 長田 裕 さん | 昭和61年 | デザイン科 | 10期卒業 | 平成18年没 |
| 林 洋一さん | 昭和55年 | テレビ放送技術科 | 30期卒業 | |
| 高山 登良雄さん | 昭和48年 | 電気工学科 | 4 期卒業 | 平成12年12月1日没 |
| 戸田 啓冶さん | 昭和51年 | 電気工学科 | 10期卒業 | 平成21年8月6日没 |
| 丸山 英之さん | 昭和57年 | 電気工事科 | 9 期卒業 | 平成17年1月30日没 |
| 森田 由里子さん | 昭和48年 | 電算部ソフトコース | 7 期卒業 | 平成21年11月15日没 |
| 西村 徳泰さん | 平成 2 年 | 電子工学科 | 51期卒業 | |
| 越智 房雄さん | 昭和44年 | 電子工学部 | 21期卒業 | 平成22年5月9日没 |
| 鈴木 孝 さん | 昭和41年 | 放送技術部 | 15期卒業 | 平成20年12月20日没 |
| 荻原 正衛さん | 昭和53年 | 放送制作芸術科 | 2 期卒業 | 平成17年10月10日没 |
| 弘中 雄三さん | 昭和54年 | 放送制作芸術科 | 3 期卒業 | 平成22年11月8日没 |
| 宮永 輝久さん | 昭和55年 | 放送制作芸術科 | 31期卒業 | 平成21年12月没 |
| 西村 明子さん | 平成 1 年 | 放送制作芸術科 | 13期卒業 | 平成12年3月6日没 |
| 吉田 正 さん | 昭和58年 | 立体製図科 | 12期卒業 | 平成21年没 |

# 写真でみる　校舎の変遷

昭和22年（1947年）5月、理事長 片柳 鴻により、大田区女塚3丁目（現在西蒲田5丁目）に絵画、洋裁教育を目的に創設された「創美学園」。以来63年間の歴史を誇る校舎の変遷をたどりました。

昭和22年

創立時の校舎

昭和24年

増築校舎が完成

昭和28年

木造校舎が完成

昭和30年

増築した木造モルタル2階建て校舎

昭和33年

1号館が完成

昭和40年

2号館が完成

昭和44年

3号館が完成

昭和45年

5号館が完成

昭和47年

6号館（現在の5号館）が完成

昭和54年

7号館が完成

昭和55年

6号館（旧5号館）が完成

平成13年

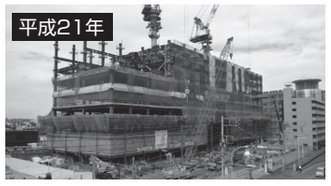
8号館が完成

平成17年

アニメ・デザイン館（6号館を増築）が完成

平成20年

平成21年



平成23年8月現在

## 学校法人 片柳学園のOB・OG推薦による入学金免除制度設置

学校法人　片柳学園（日本工学院専門学校・日本工学院八王子専門学校・日本工学院北海道専門学校・東京工科大学）の卒業生の子女・兄弟姉妹、在籍生の兄弟姉妹が入学する際に、入学金が免除される制度を設置しています。

### 日本工学院専門学校

〒144-8655　東京都大田区西蒲田5-23-22
TEL.03-3732-1111（代表）
ＵＲＬ http://www.neec.ac.jp/
mobile http://neec.mobi/

**クリエイターズカレッジ**
放送・映画科
声優・俳優科
クリエイティブラボ（4年制）
（CG・アニメ／ゲームラボ）
マンガ・アニメーション科
ゲームクリエイター科
CGクリエイター科

**デザインカレッジ**
グラフィックデザイン科（3年制）
Webデザイン科（3年制）
インテリアデザイン科（3年制）
プロダクトデザイン科（3年制）

**ミュージックカレッジ**
ミュージックアーティスト科
（プレイヤー／ヴォーカリスト／ミュージッククリエイターコース）
コンサート・イベント科
レコーディングクリエイター科
ダンスパフォーマンス科

**ITカレッジ**
ITスペシャリスト科（4年制）
情報処理科
パソコン・ネットワーク科
情報ビジネス科

**テクノロジーカレッジ**
電子・電気科
環境・バイオ科
（環境バイオ／化粧品バイオコース）
建築学科（4年制）
建築設計科
CAD設計製図科

**医療カレッジ**
診療情報管理士科（3年制）
医療秘書・事務科
臨床工学専攻科一年制

### 日本工学院八王子専門学校

〒192-0983　東京都八王子市片倉町1404-1
TEL.042-637-3111（代表）
ＵＲＬ http://www.neec.ac.jp/
mobile http://neec.mobi/

**クリエイターズカレッジ**
放送・映画科
声優・俳優科
クリエイティブラボ（4年制）
（CG・アニメ／ゲームラボ）
マンガ・アニメーション科
ゲームクリエイター科
CGクリエイター科

**デザインカレッジ**
グラフィックデザイン科（3年制）
Webデザイン科（3年制）
インテリアデザイン科（3年制）
プロダクトデザイン科（3年制）

**ミュージックカレッジ**
ミュージックアーティスト科
（プレイヤー／ヴォーカリスト／ミュージッククリエイターコース）
コンサート・イベント科
レコーディングクリエイター科

**ITカレッジ**
ITスペシャリスト科（4年制）
情報処理科
パソコン・ネットワーク科
情報ビジネス科

**テクノロジーカレッジ**
ロボット・機械科
電子・電気科
一級自動車整備科（4年制）
自動車整備科
応用生物学科
建築学科（4年制）
建築設計科
土木・造園科
CAD設計製図科
テクノロジー研究科

**医療カレッジ**
鍼灸科（3年制）
柔道整復科（3年制）
診療情報管理士科（3年制）
医療秘書・事務科

**スポーツカレッジ**
スポーツトレーナー科三年制
スポーツトレーナー科
スポーツ 健康学科三年制
（スポーツインストラクター／健康運動指導／スポーツビジネスコース）
スポーツ 健康学科
（スポーツインストラクター／健康運動指導／スポーツビジネス／サッカー／テニスコース）
こども学科
（幼稚園教諭／保育士コース）

### 日本工学院北海道専門学校

〒059-8601　北海道登別市札内町184-3
TEL.0143-88-0888（代表）
ＵＲＬ http://www.nkhs.ac.jp/
mobile http://nkhs.mobi/

**クリエイティブ系**
ゲームクリエイター科
アニメ・CG・Web科

**IT系**
情報処理科
情報システムコース
情報ビジネスコース

**テクノロジー系**
自動車整備科
テクノロジー科
電気工学コース
情報ネットワークコース
建築学科
インテリアデザインコース
テクニカルコース

**公務員系**
公務員学科
公務員事務コース
警察官・消防士コース

**医療系**
しん灸科
柔道整復科
医療秘書科

蒲田キャンパス

八王子キャンパス

### 東京工科大学

**●蒲田キャンパス**

**デザイン学部**
視覚と伝達コース
映像と構成コース
空間と演出コース

**医療保健学部**
看護学科
臨床工学科
理学療法学科
作業療法学科

**●八王子キャンパス**

**メディア学部**
コンテンツ創作コース
インタラクティブメディアコース
ソーシャルメディアサービスコース
メディアビジネスコース

**応用生物学部**
バイオテクノロジーコース
環境生物コース
先端食品コース
先端化粧品コース

**コンピュータサイエンス学部**
ソフトウェアコース
システムエンジニアリングコース
ネットワークコース
エンターテイメントコンピューティングコース
メカトロニクスコース
生活環境デザインコース
サービス・ビジネスコース

**大学院 バイオ・情報メディア研究科**
バイオニクス専攻
コンピュータサイエンス専攻
メディアサイエンス専攻
アントレプレナー専攻

○蒲田キャンパス
〒144-8535　東京都大田区西蒲田5-23-22　TEL.03-6424-2111（代表）
○八王子キャンパス
〒192-0982　東京都八王子市片倉町1404-1　TEL.042-637-2111（代表）
URL http://www.teu.ac.jp/　mobile http://kam.teu.ac.jp/